

小泉産業株式会社グループ コミュニケーションレポート

# COMMUNICATION REPORT 2011



新しい着眼と独自の発想で  
 新たな価値を創造し  
 人と社会に  
 夢と感動をつくり出します

編集方針

小泉産業株式会社グループは、CSR(企業の社会的責任)活動を報告するため2004年から毎年レポートを作成しています。レポートには、目的とメディア特性に応じて、冊子とWEBサイトの2種類があります。

冊子(本レポート)

本年はタイトルを、従来の「CSR REPORT」から「COMMUNICATION REPORT」へと変更しました。本レポートを、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションのさらなる活性化に活用していくことを目的に、当社グループと社内外のステークホルダーの皆様との「対話」を中心に編集しています。お客様や協力会社をはじめ社外のステークホルダーの皆様からのご意見・ご要望を掲載するとともに、従業員の活動に対する思いを多数紹介しました。

WEBサイト

CSR活動をできる限り網羅的に報告することを目的としています。「グループ全体」で共通した取り組みと、ステークホルダーや事業内容が異なるグループ内の主要2事業である「照明事業」「家具事業」に分けて報告しています。「グループ全体」ではCSRマネジメントについても説明しています。また、それぞれ「社会」「環境」への責任と課題、それらに対する取り組みについて報告しています。

▼「社会」と「環境」への取り組みWEBサイト  
<http://www.koizumi.co.jp/csr/index.html>

報告対象組織

本レポートでは、持株会社である小泉産業(株)と国内事業会社7社、合計8社の取り組みについて報告しており、その詳細は以下のとおりです。(レポート中では、小泉産業を「当社」、報告対象組織全8社を「当社グループ」と表記しています)

- 小泉産業(株)
- コイズミ照明(株)
  - コイズミ照明デバイス(株)
  - コイズミライティング(株)
- コイズミファニテック(株)
- (株)ハローリビング
- コイズミ物流(株)
- コイズミ情報システム(株)

報告対象期間

2010年4月1日から2011年3月31日まで。  
 (当社2010年度)

発行日 2011年7月  
 (次回発行予定 2012年7月)



シンボルにあるダイナミックウェーブは生活文化(Culture)、発信(Communication)、挑戦(Challenge)の頭文字「C」、Life、Living、Lightingの頭文字「L」、小泉産業グループの頭文字「K」を、躍動する波の姿にまとめたもので、常に社会に新しい価値を発信し続ける小泉産業グループの姿勢をあらわしています。

INDEX

編集方針 ..... 1  
 報告対象組織/報告対象期間 ..... 2  
 小泉産業株式会社グループの概要 ..... 3  
 小泉産業株式会社グループの事業領域 ..... 5  
 経営者からのメッセージ ..... 7

コイズミ照明(株)の取り組み

取り組み① お客様に納得の照明プランを提案する  
 コイズミライティングショールーム ..... 11  
 取り組み② 空間の魅力、快適性、省エネ性を高める「光品質」で  
 施主様の「CO<sub>2</sub>削減プロジェクト」に参画 ..... 15  
 取り組み③ 照明文化の向上と若き人材の育成をめざす  
 コイズミ国際学生照明デザインコンペ ..... 19

コイズミファニテック(株)の取り組み

取り組み① お客様とともに、子どもにとって最適な学習空間を  
 考えるコイズミファニチャープラザ ..... 21  
 取り組み② お客様に安心して永くお使いいただける  
 品質と安全性の確保のために ..... 25  
 取り組み③ 「学習机」だけではなく、  
 「介護のコイズミ」をめざす ..... 27

コイズミ物流(株)の取り組み

環境調和型ロジスティクスを展開し  
 最適な物流サービスを提案 ..... 29

コイズミ情報システム(株)の取り組み

お客様の課題を解決する  
 人間力にあふれた企業として ..... 31

(株)ハローリビングの取り組み

生活者の視点で、  
 省エネ・安心・安全・健康な空間づくりを ..... 32

小泉産業(株)の取り組み

グループ全体で人格の育成向上をめざす ..... 33  
 グループ全体で社会的価値の向上をめざします  
 CSRマネジメント/コンプライアンス&リスクマネジメント  
 /環境マネジメント ..... 35

KOIZUMI TOPICS ..... 37

KOIZUMIブランドのあゆみ ..... 39

小泉産業株式会社グループのデータ ..... 41

編集後記 ..... 42



# 快適空間を提供する 価値創造型企業グループとして

## 照明事業

Lighting



### 「あかり文化」の創造をめざして

住宅照明と店舗照明を事業領域に、照明器具の企画・開発から各種空間の照明設計までをトータルに展開。あかりによる快適な空間づくりを通して、新しい「あかり文化」の創造と環境保全に貢献できる製品提供をめざしています。

#### コイズミ照明株式会社

照明器具の企画・開発・製造・販売

#### コイズミ照明デバイス株式会社

照明器具部品の販売および輸出入、  
照明器具組立

#### コイズミライティング株式会社

照明器具の製造

#### 青垣コイズミ照明株式会社

照明器具の製造

#### 小泉産業(香港)有限公司

照明器具の企画・製造・販売

#### 東莞小泉照明有限公司

照明器具の企画・開発・製造・販売

#### 克茲米商貿(上海)有限公司

照明器具の企画・販売

#### 東莞克茲米家電科技諮詢有限公司

家電・照明器具の企画・開発、照明設計、  
品質管理等のコンサルティングサービス

## 家具事業

Furniture



### 暮らしを「科学」し快適生活を提案

子どもの成長を支える「学習家具事業」を中心に、高齢者向けの介護機器などの販売・レンタル事業を展開。人の暮らしを「科学」し、子どもや高齢者の健康・安全と環境に配慮した製品・サービスを提供しています。

#### コイズミファニテック株式会社

学習環境家具および介護機器などの  
企画・開発・製造・販売

#### 小泉家具(大連)有限公司

学習環境家具の販売

#### コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.

家庭用家具・店舗用家具・特注家具・  
店舗用什器の企画・開発・製造・販売

## 住設販売事業

Home fitting Sales



### インテリアから家電、内装材まで

各種インテリア製品や内装材などの住宅設備機器の販売・施工サービス事業を全国に展開し、快適な生活空間をトータルに提案しています。

#### 株式会社ハローリビング

住宅設備機器の販売・取付工事

#### 株式会社サンシャイン

住宅設備機器の販売・取付工事

#### コクブライツ株式会社

住宅設備機器の販売・取付工事

## 物流事業

Distribution



### 価値あるロジスティクスを創造

グループ内各社のロジスティクス機能を担う一方、その経験とノウハウを活かし、幅広い業界のお客様に最適な物流ソリューションを提供しています。

#### コイズミ物流株式会社

物流事業・倉庫業・物流システム  
開発販売業務

## 情報システム事業

Information system



### 最適なシステム環境の実現に貢献

人間力と技術力により新しい価値を創造し、幅広い企業のニーズに応じたシステムの開発・運用・保守サービスを提供しています。

#### コイズミ情報システム株式会社

IT関連のソフト開発および  
コンピュータ機器販売

## グループ統括

Group generalization



### 「価値創造の専門集団」をめざして

それぞれの事業領域で専門性を発揮するグループ各社を統括し、KOIZUMIブランドの価値向上をめざしています。

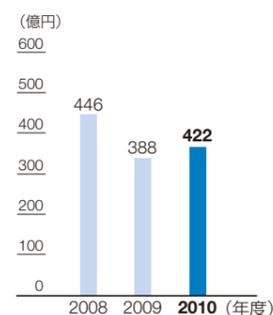
#### 小泉産業株式会社

持株会社として、  
グループ統括機能と  
各社の事業の管理・監督

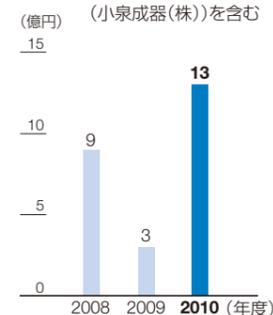
### 小泉産業株式会社

商号 小泉産業株式会社  
本社所在地 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7  
代表者 代表取締役社長 梅田 照幸  
創業 1716年(享保元年)  
設立 1943年6月25日  
資本金 1,575百万円  
従業員 33名(単独) 1,374名(連結)  
事業内容 持株会社  
子会社 16社(うち連結対象8社)

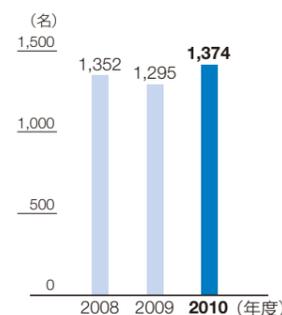
### ■ グループ売上高(連結)



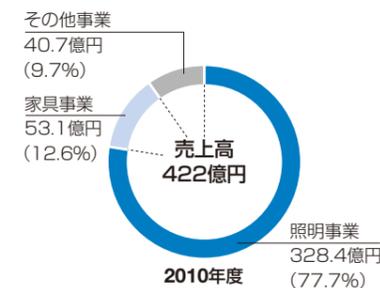
### ■ グループ経常利益(連結) 持分法適用会社 (小泉成器(株))を含む



### ■ グループ従業員数

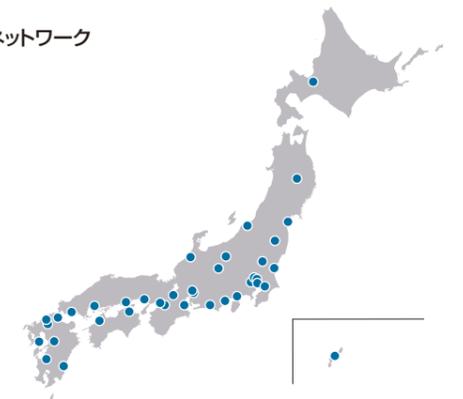


### ■ 事業別売上高構成(連結)



### ■ 小泉産業株式会社グループの営業所ネットワーク

国内 …………… 56営業所  
国内子会社 …………… 10社  
海外子会社 …………… 6社



# さまざまな空間に新しい価値を提供しています

当社グループは、住宅や商業施設などのさまざまな空間の快適性と魅力を高めるため、照明事業、家具事業をはじめとするグループ各社が、それぞれの事業領域で、プロフェッショナルを発揮し、新しい価値を提供しています。

## 住宅で



毎日の暮らしを快適で魅力的にするため、「住まいのあかり」をトータルにプロデュース。さらに、学習デスクなどで子どもたちの学習空間を創造するとともに、高齢社会に対応する各種介護機器なども提案しています。

### お目覚め



### 就寝前



### 就寝中



光の効果で「眠り」と「目覚め」をサポートする照明



吹き抜け空間にさらなる広がりを出す照明



ダイニングを中心とした暮らし方に添う照明



立ち上がり機能をプラスした電動リクライニングソファ



お子様の年齢や暮らし方に合わせて組み替えができる学習家具



眩しさを抑えた低位置のガーデンライトによる照明



歓迎の時を演出する照明

## 店舗で



物販店、飲食店をはじめとするさまざまな集客施設に、個性あふれる空間づくりのための最適な照明プランを提案しています。



WR AOYAMA(東京都)



Wilkahn Japan(東京都)



## オフィスで



丸の内パークビルディング・三菱一号館(東京都)



住まいと同様に、多くの時間を過ごすだけに、人々にとって重要な意味を持つオフィス空間の「あかり」。快適かつ仕事のしやすい照明プランを提案しています。

## 公共空間で



周囲の自然環境との調和、省エネはもちろん、それぞれの場が持つ目的や特性、そこで営まれるコミュニケーションに対応した多彩な照明プランを提案しています。



兵庫医療大学(兵庫県)



仁川三山近隣公園(韓国・仁川市)

# CSR経営を推進し、 企業価値の向上と社会への貢献をめざします



**前列**  
 ① 小泉産業(株) 取締役会長 **川瀬 文雄**  
 ② 小泉産業(株) 代表取締役社長 **梅田 照幸**  
 コイズミ照明(株) 代表取締役社長 **永安 勝壽**  
**後列**  
 ④ コイズミ物流(株) 代表取締役社長 **阿部 邦夫**  
 ⑤ コイズミ情報システム(株) 代表取締役社長 **権藤 浩二**  
 ⑥ (株)ハローリビング 代表取締役社長 **石尾 泰裕**

## 「5つの価値」と「4つの責任」を果たすために

小泉産業株式会社グループは、持株会社の小泉産業(株)を核に、主力の照明・家具事業を含む5つの戦略子会社と国内外16の機能子会社からなる企業グループです。その社会的使命は、経営理念にある「新しい着眼と独自の発想で新たな価値を創造し、人と社会に夢と感動とつくり出す」ことにほかなりません。それは、暮らしの空間やシーンに応じて最適な「あかり」を提供する照明事業、お子様の学習環境を科学し、健やかな成長を支援する家具事業、また、物流、情報など幅広い事業を展開する企業グループとして、独自の創造力と提案力で新しい価値を提供し、社会に貢献していくことだと言い換えられます。

2006年には、新グループ体制への移行にともない、私たちが果たすべきCSR(企業の社会的責任)を、「5つの価値(顧客価値、社会価値、人材価値、業務プロセス価値、財務価値)」の創造・向上を図り、「4つの責任(経済的責任、社会的責任、環境的責任、倫理的責任)」を果たしていくことであると明確にしました。

こうしたCSR経営を進めていくベースとなるものは、言うまでもなく、利益を出せる企業体質です。2009年からスタートした新・中期経営計画でも、独自性と付加価値の高い商品・サービスというKOIZUMIブランドの強みを押し出し、「強い会社づくり」を重要課題に掲げています。

そして、この「強い会社づくり」のために最も重要なことは、会社を構成する従業員一人ひとりが、やりがいや誇りを持てる企業風土の醸成です。収益をめざすのは当然のことですが、そのための動機づけを大切に、一人ひとりが各現場で日々、働きがいと誇りを持ち、お客様満足の向上をめざしていく。ここにCSR経営、CSR活動の原点はあると考えています。



## 働きがいのある企業風土づくりによって、CSRを推進します

CSR経営のベースとなる「強い会社づくり」の根幹である企業風土の醸成を踏まえて、2011年度のグループ基本方針では、「グループ各社が働きがいのある会社づくりに挑戦していくこと」を最上位の方針として掲げました。なぜならば、当社グループのCSRの「5つの価値」を創造し、「4つの責任」を果たしていくのは、あくまでも一人ひとりの従業員であり、その従業員が働きがいを感じられる企業風土があって初めて、自分たちの目標を強く意識して、前向きに取り組んでいけるからです。そのために今年も、仕事、会社、仲間それぞれ

### 小泉産業株式会社グループの理念

**社是**  
人格の育成向上

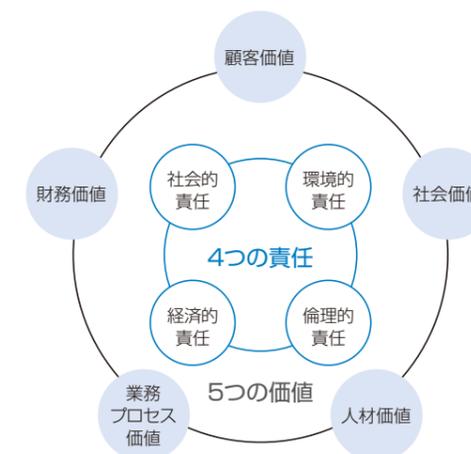
**グループ経営理念**  
新しい着眼と独自の発想で  
新たな価値を創造し  
人と社会に 夢と感動をつくり出します

**グループ行動理念**

- 積極果敢にチャレンジし、目標を必達します
- 自由活発なコミュニケーションを行い、明るく、元気に、同志とともに進みます
- 互いに学び、人間力を高めます
- 現場、現物、現象を基本に、お客様の課題を解決します
- 三方よしの精神で、信用と信頼の向上を図ります
- 社会規範を遵守し、地域、社会、地球環境に貢献します

**グループビジョン**  
私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する愛される「価値創造の専門集団」をめざします

### 「5つの価値」と「4つの責任」



と従業員個人との関係についてのあるべき姿を整理しました。会社・上司との信頼関係、仲間との連帯感、仕事における誇り、それぞれを高めていくことに一人ひとりが取り組むことによって働きがい生まれ、結果的に「強い会社」となり、企業価値向上と社会への貢献ができるものと考えています。

一人ひとりの従業員が主体的に目標に向かって取り組み、現場中心のボトムアップの活動を推進していくため、当社グループでは、2010年度から、持株会社の小泉産業(株)に置いていた「グループCSR経営推進協議会」に替えて、経営推進部を事務局として、戦略子会社における現場中心のCSR活動を支援していく体制としました。これによってCSR活動が個々の現場の目標管理レベルに浸透し、各社・各現場での自発的な取り組みが活発になってきています。

### 高い専門性と技術力で環境的責任を果たします

しかし一方で、グループ全体で推進すべきCSR課題、例えば、環境問題やこのたびの東日本大震災によって顕在化された電力問題などに関しては、小泉産業(株)がリーダーシップを発揮し、自社施設の照明のLED化や空調設備の効率化に投資していく考えです。



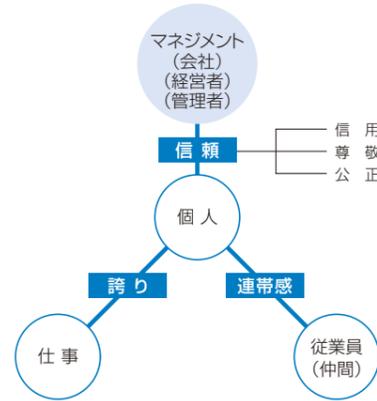
また、コイズミ照明(株)では、2011年度内に滋賀県のコイズミライティング(株)に増築する新工場で、省エネルギーとCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献するLEDモジュールの製造を開始します。これまでに培った高い専門性と技術力で高品質のLED普及に努めることもまた、我々の社会的使命と捉え、環境的責任を果たしていきます。

### たゆまない「成長への挑戦」を続けていきます

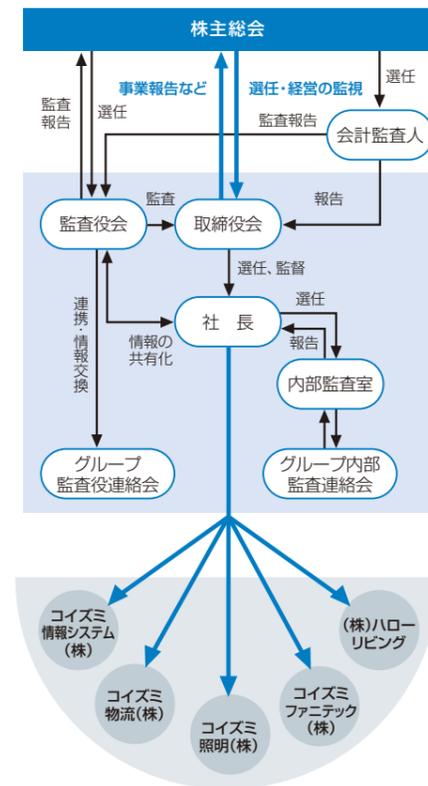
業績については、2010年度のグループ連結売上高は、ほぼリーマンショック前の規模に戻すことができました。主要な照明事業がLEDの急速な普及などによって伸びたことが要因です。今後は、さらに製造分野の拡充と国内外での販売の推進によって業績拡大を図り、積極的な経営姿勢を継続することによってCSR経営を展開していきます。

2011年度の基本方針で、もうひとつ上位に位置づけたのが、「顧客創造への挑戦」です。そのキーワードは2つ、すなわち「顧客満足の向上」と「新規顧客の創造」です。時代が大きく変化しているときこそ、人々の暮らしも要求も大きく変化します。そうした要求に真摯に応えていくことが企業の使命であり、

### ■ 働きがいの3つのエレメント



### ■ グループガバナンス体制図



それを果たすことで顧客の創造ができるものと確信し、全社一丸となって挑戦していきます。また、海外においても、照明、家具事業ともに中国市場に築いた販売拠点を足がかりに、新規顧客の創造に挑戦していく考えです。

### 企業をつくる「人」を育成する新しい仕組みづくり

当社グループでは、従来から「人格の育成向上」という社是のもとで、高い目標と夢を持って挑戦する人が評価される企業風土づくりを進めています。2011年度は、基本方針で掲げた「働きがいのある会社づくり」の一環として、新たな人材育成の仕組みを立ち上げる計画です。そのひとつが、小泉産業(株)が中心となって、グループ各社の人材をプロフェッショナルとして育成する「コイズミアカデミー構想」です。また、各社でも高い専門性を持つ人材育成のための仕組みづくりを進めていきます。

### 長期的・継続的な復興支援に取り組んでいきます

2011年3月に発生した東日本大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。当社グループでも一部事業所が被害を受けましたが、幸い復旧も早く、今後は1日も早い被災地の復興に貢献したいと考えています。

震災では、部品・資材の仕入先様の被災によって、グループ各社では現在も製品供給面で影響が出ています。今後は、供給責任を果たすため、仕入先様のエリア分割など購買基準の見直しを検討しています。また、委員会を立ち上げ、大災害の発生に備えた対策の見直し・強化にも取り組んでいきます。

震災によって、被災地を中心にLEDの普及は一段と進むと予測されます。そこで我々に求められていることは、コストダウンに対する市場の要求に対応できる技術革新です。また、エネルギー供給のあり方、未来型の国家のあり方について日本が世界から注目を浴びている中で、当社グループとしてどのような貢献をしていけるかは今後の大きな課題であると捉えています。

震災に際し、当社グループでは日本赤十字を通して義援金の寄付、募金活動、得意先様からの水没商品の引取りなどを実施しました。現在、長期的・継続的な支援について検討しています。

小泉産業株式会社  
代表取締役社長

### ■ 中国市場での顧客創造



当社グループ製品が導入された日本法人店舗(上海)



月星家具城の学習家具販売代理店(上海)



東莞小泉照明有限公司の製造ライン

### 被災地の仮設住宅に灯す「あかり」

仮設住宅に供給される住宅メーカー様から照明器具のご用命をいただき、随時現地へお届けしています。被災された皆様のこれからの暮らしにあかりを灯すことで、当社の製品が少しでも復興のお役に立てれば幸いです。



仮設住宅向け照明器具の仙台便への積み込み(東大阪ターミナル)

# お客様に納得の照明プランを提案する コイズミライティングショールーム

今「あかり」にできることを、あれも、これもリアルに体感できる――

それがコイズミ照明(株)のライティングショールームです。

豊富な照明器具の展示はもちろん、リビング・ダイニング・寝室などの生活空間で、多彩な照明手法をお試しいただけるシミュレーション施設が充実しています。



## コイズミライティングショールーム

お客様への情報発信拠点として、名古屋のほかにも東京・大阪・福岡にショールームを開設。お客様の快適な暮らしのための心地よい「あかり」の提案をはじめ、さまざまなコミュニケーション活動を展開しています。



ショールーム東京



ショールーム大阪



ショールーム福岡

## 「あかり」を見て、知って、体感できる コイズミライティングショールーム名古屋

照明器具を選ぶときは器具の意匠性も大切ですが、それ以上に「どんな光が出るのか」をポイントに選ぶことが重要です。コイズミ照明(株)は早くからこの点に着目し、器具のデザインだけでなく、光の効果がその場で確認できる「体感型ショールーム」というコンセプトを業界に先駆けて開発、1990年の大阪ショールーム開設を皮切りに全国各地で「体感型ショールーム」を運営してきました。各ショールームには、当社が推奨する「多灯分散型照明」――主照明と補助照明を組み合わせて、適所に適光を適時に配光できる住宅照明を体感いただけるよう、住宅の各部屋を想定したシミュレーションルームを設置しています。ここで生活シーンごとの「あかり」を体感いただくことで、照明器具選びにおいてはインテリアコーディネートとともに、光の効果が大切であることが、お客様に認知されるようになってきました。

そして今、環境の時代。照明器具には省エネの推進手段として大きな期待が寄せられており、当社でも省エネ性能の高いLED照明の開発を最重要課題と位置づけて事業を推進しています。ショールームにおいてもLED製品の展示を拡充するとともに、シミュレーションルームの光源をLEDを主体に一新し、さまざまな照明手法による光の効果の違いを体感いただけるよう改装を進めています。

その第1弾が名古屋ショールームです。2010年11月、全国に先駆け、LED照明による全面改装を行いました。光源の種類や配置によって変わる空間の印象の違い、コントロール装置の活用によって生まれる空間の表情の豊かさなどをシミュレーションルームで体感いただいたうえで、お客様ごとに最適な「あかり」を選びを、ご納得いくまでお手伝いしています。



適光適所の「あかり」をお勧めしています

LED照明はまだまだ話題が先行して、特徴が周知されていないと感じています。LEDを熟知したコイズミだからこそ、お客様にLEDが適している場面などを丁寧にご説明して、LEDについてご理解いただき、適光適所の照明器具を納得してお選びいただけるようご提案しています。

コイズミ照明(株)  
ショールーム名古屋  
照明研修インストラクター  
第二種電気工事士  
ライティングコンサルタント  
インテリアコーディネーター  
**龍野 さやか**



## ショールーム名古屋

2010年11月、ショールーム名古屋では、コイズミLED照明「cledy」シリーズの新商品発売に合わせ、LEDと従来照明のそれぞれの良さをお見せできるように、各シミュレーションスペースを改装しました。



### ハウスライティング シミュレーション1

ダイニングキッチンとリビングダイニングの2つの空間で、LED照明と従来照明が体感できます。



### ハウスライティング シミュレーション2

吹き抜け空間での全般光と床面へのスポット光の組み合わせで変わる空間の表情を体感できます。



### ハウスライティング シミュレーション3

お目覚めからお休みまでのさまざまなシーンごとに、最適な「あかり」をご提案しています。

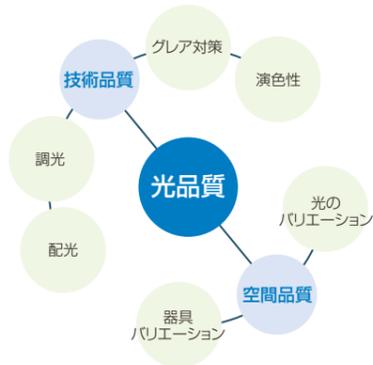
## コイズミ照明(株)の取り組み①

### 進化したLEDがつくる、ひとつ上の省エネと快適

高効率で長寿命なLEDは、環境負荷の少ないあかりとして注目されてきました。また、近年の技術の高まりで光そのものの美しさやデザイン性でも従来光源を上回るほどのクオリティへと進化しています。今、照明に求められる省エネの実現と快適空間の演出。それを高次元でかなえるLEDが、コイズミの「光品質LED」です。



住宅用照明器具カタログ  
あかり専科



**技術品質** 従来光源に並ぶ光の美しさで、よりよい省エネへ。

環境にやさしい光を

**省電力** 高品質なLED照明により、消費電力やランニングコストを低減します。

- ⊕ より自然な明るさを  
**演色性**
- ⊕ 用途に合わせた光の広がり  
**配光**
- ⊕ まぶしくない光を  
**グレア対策**
- ⊕ ちらつきのない適切な光を  
**調光**

**空間品質** 自由な光環境コントロールで、空間を魅力的に。

テーマに沿った光環境を

**照明計画** 高品質なLED照明により、快適な空間を演出します。

- ⊕ 空間シーンを演出する  
**光のバリエーション**
- ⊕ 照明計画に合わせて選べる  
**器具バリエーション**

### 「光品質LED」をショールームで体感

高効率で長寿命な省エネ光源、LED。当社では、人にとって心地よい「あかり」をLEDで実現するため、グレア(まぶしさ)や物の自然な色を再現する演色性、明るさの度合いをスムーズに調節する調光機能など「光品質」を追求した「cledy(クレディ)」の新シリーズを2010年に開発し、発売しました。

では、LED照明の特長を活かした空間とはどのようなものなのか——。それを暮らしのシーンごとに、実際に見て、知って、体感していただくことが、ライティングショールーム名古屋では可能となっています。

たとえば寝室では、当社が独自に開発した調光システムを利用した「快適寝室照明」を体感していただけます。これはぐっすり眠れない、目覚めがよくないという、現代人に増えつつある睡眠障害の改善を、照明の観点からめざしたものです。目を閉じてベッドに横になっていただくことで、心地よい就寝と目覚めをイメージしていただくことができます。

また、リビングでは、照明器具から壁面までの距離によって空間の表情はどのように違ってくるか、さらにキッチンやダイニングではLED照明のもとで料理の色がどれだけ実物の色に近くなるかなど、極めて具体的なことまで確かめていただけるようになっています。従来の白熱灯は点灯中に高熱になるため、人が触れやすい場所では注意が必要でしたが、LEDの低発熱性という特長を利用したペンダントやダウンライトの効果的な組み合わせ方も提案しています。

このように、ショールーム名古屋では、部屋ごと、生活シーンごとに、LEDを活用した「あかり」を体感できるため、「ここに来れば、照明のすべてが見られる」と、多くのお客様からご好評をいただいています。

「エコプロダクツ&コンフォートプロダクツ」は、省エネや環境に配慮して開発した、コイズミ推奨製品の呼称です。



### ショールームをお客様との接点にして

ショールームは単なる商品展示の場ではなく、照明に関する最新の知識を発信する拠点として、また、照明に関心のある人々が情報交換や交流を求めて集うコミュニケーションスペースとしての役割も担っています。その一環として当社では、一般のお客様向けに照明選びのポイントや使い方などをご案内する「あかり教室」や、建築関係企業・設計事務所などプロユーザー様向けの「ライティングスクール」を開催してきました。

ショールーム名古屋でも、今回の改装でLED主体の展示を拡充したことから、LED照明の効果的な使い方や省エネをテーマにした教室やセミナーを積極的に開催しています。改装後は、多灯分散型照明をテーマにした「3step+3zone」\*セミナーや、ハウスメーカー様、ホームビルダー様を対象としたLED照明の内覧会や研修会を実施。その結果、建築関連の企業様や設計事務所様の来場が飛躍的に増え、施主様を伴って来場される業者様も増加しています。また、若手の建築家集団の方々がショールームで勉強会を開催されるなど、幅広いユーザー様にさまざまな目的で活用いただいています。

社会の環境意識が高まり、LED照明への期待がふくらむなかで、情報発信拠点としてのショールームの重要性はますます高まっています。当社は、そうした社会の期待に照明専門メーカーとして応えるため、今後もショールームの情報発信機能の充実に取り組んでいきます

\*3step(①時間軸 ②光バランス ③シーンコントロール)+3zone(①目的光 ②環境光 ③演出光)を考慮した照明計画の考え方



### コイズミ エコプロダクツ

当社では、器具の消費電力を節減する「省エネ」や、再生素材の使用などによる「省資源」、環境や人の健康に悪影響を及ぼす物質を使わない「安心」という3つの観点から、独自の評価基準を設け、基準をクリアした製品群を「コイズミ エコプロダクツ」(環境配慮型製品)として推奨しています。

### コイズミ製品に占めるエコプロダクツ認定商品の割合



### 今までにない製品をお届けします

技術が進化し、LEDが暮らしを変えるあかりとして、数多くご採用いただけるようになってきました。育む・広がる・和む・いざなう「あかり」として、さまざまな暮らしの場面に快適をプラスし、電気エネルギー・CO<sub>2</sub>・電気代をマイナスにする「あかり」。これからも今までにない提案をお届けできる製品の企画開発を進めていきます。

コイズミ照明(株)  
住宅商品企画課 室長  
**安枝 直哉**



福岡ショールームのライティングセミナーに参加してインターネットの普及でたくさんの情報が氾濫し、一般のお客様の中にも住宅取得をきっかけに「照明」に興味を持たれ、いわゆる「玄人はだし」な方も現れる昨今、我々インテリアコーディネーターはより高度な知識・アドバイスを求められます。そのような場面で、的確にわかりやすく説明をするための知識取得の場として、貴社のシミュレーション型セミナーは最適であり、日々の業務で大いに活用させていただいております。これからも、新しい情報に即したセミナーの企画を希望しております。



参加者  
株式会社谷川建設グループ  
株式会社ティーズデザイン  
チーフコーディネーター  
**瀬戸 日奈子 様**

### 「あかり」の今をご案内するセミナーを開催

一般のお客様向けに開催している「あかり教室」や、プロユーザー様向けの「ライティングスクール」では、LEDダウンライトや間接照明、省エネなど、今の「あかり」をご案内しています。



参加者  
株式会社安江工務店  
天白店 デザイナー  
**富永 萌 様**

名古屋ショールームのライティングスクールに参加してライティングスクールでは、照明の基礎知識から応用まで実際に体感しながらわかりやすく学ばせていただきました。照明の種類や用途、長所や短所、LED照明についても丁寧に教えていただき、特に私が今まで頭を悩ませてきたダウンライトの照明設計も、いくつかの実例を実際に見せていただき、とてもわかりやすく学ぶことができました。お客様へより幅広い提案ができるようになり、自分自身も楽しく照明プランを考えることができるようになりました!

# 空間の魅力、快適性、省エネ性を高める「光品質」で施主様の「CO<sub>2</sub>削減プロジェクト」に参画

「空間の魅力と快適性の向上」と「省エネや資源の有効利用による環境負荷低減」――。

私たちコイズミ照明(株)は、これら2つの課題を高い次元でクリアする新しい照明器具と空間設計技術の開発に取り組んでいます。



吉祥寺PARCO

## cledy(クレディ)

Clean, Convert, Comfortの3つのCをコンセプトに、環境負荷の少ないLEDの光源を暮らしに快適な「あかり」に育て上げた、コイズミのLED照明シリーズです。豊富なバリエーションで、ecoと快適さをお届けします。



## 施主様の課題解決のために、製販一体の取り組みを開始

2010年4月に改正省エネ法が完全施行され、店舗や商業施設では地球温暖化防止の取り組みとして、省エネ・CO<sub>2</sub>削減に向けた諸策の実施が急がれています。日本のCO<sub>2</sub>総排出量のうち電気に由来する分が約25%、そのうち照明由来は約20%に上っています。そこで、当社は照明専門メーカーの使命として、さまざまな店舗や商業施設における照明計画の省エネ化の提案に努めています。

そのひとつが、パルコグループ様が推進する「CO<sub>2</sub>削減プロジェクト」への参画です。パルコグループ様では、早くから環境対応をグループ方針として打ち出され、店舗運営における省エネ性を飛躍的に高める店舗設計に取り組まれています。店舗のデザイン、設計、施工を担う株式会社パルコスペースシステムズ様と当社は、これまでも各種物件の照明課題に協働で取り組んできたことから、当社がともにLED照明を柱とする照明計画に取り組むことになりました。

(株)パルコスペースシステムズ様では、一般的には100VA/m<sup>2</sup>(1m<sup>2</sup>あたりに使用する照明器具のW数の上限が100W)という目安に対して、60VA/m<sup>2</sup>という高い自主基準を設定して省エネに取り組まれています。しかし、その空間づくりにおいては、単に省エネを追求するだけでなく、明るく見える効果的な照明をめざしておられました。こうしたパルコグループ様の「CO<sub>2</sub>削減プロジェクト」の方針に対して、当社は、省エネはもちろん、高演色、高品位な配光など、光の総合的な品質で応えていこうと、製販一体となった取り組みをスタートさせました。

## コイズミの改正省エネ法対策

2010年4月の改正省エネ法施行以降、小売業、飲食業、フランチャイズチェーンでは、省エネ施策が急がれています。当社では、WEBサイト「KOIZUMIスマートプラン」などを通じて、エネルギー効率の高いLED照明への移行促進をお手伝いしています。



<http://www.koizumi-lt.co.jp/product/smartplan/index.html>

密接なコミュニケーションで、課題を解決

(株)パルコスペースシステムズ様には、改装計画の初期段階から設計部門とともに何度も足を運び、CO<sub>2</sub>削減プロジェクトの方針やご意見を伺いながら、きめ細かなコミュニケーションを図りました。今回のプロジェクトで進められた照明設計において、当社の環境性能と光品質が評価されたことを誇りとして受け止めています。

コイズミ照明(株)  
西日本営業本部  
西日本商環境開発部 部長  
**笹倉 睦**



全社を挙げた取り組みが、大きな成果に

マーケティングは、市場の変化を的確に把握して、製品やサービスで先回りできる仕掛けや仕組みをつくることですが、今回は新製品開発テーマのひとつとして、市場動向に素早く対応するための情報収集が求められました。製販一体となった取り組みがスピーディな対応を生んだと思います。

コイズミ照明(株)  
店舗・施設商品本部  
営業企画室 室長  
**千田 亨**



## コイズミ照明(株)の取り組み②



課題解決に最適な提案でお応えします

施主様がめざすものへの想いを十分に受け止め、店を訪れるお客様やそこで働くすべての人に喜ばれる最善の照明計画をご提案することが私たちの使命です。パルコ様の改装では点灯試験で、実際に現場で当社の製品を見ていただけたことで、信頼関係がより深まったと思います。

コイズミ照明(株)  
東日本営業本部  
LCR東京  
**島 裕二**



### LCR (Lighting Creative Room)

LCRは、店舗や大規模施設の照明計画を中心に活動する「照明のプロフェッショナル部門」です。お客様の空間企画および設計段階からプロジェクトに参画し、施工環境のリサーチからオリジナル照明器具の製作まで、照明計画をトータル的にプロデュースし、高品質なあかりによる空間づくりをサポートしています。



### 照明のプロフェッショナルとして 配光と演色性に優れた「光品質」を実現

(株)パルコスペースシステムズ様がLED照明計画のパートナーとして当社を選ばれた理由は、タイムリーで的確な情報提供と実験・検証への優れた協体制、そして器具品質、特に演色性への徹底したこだわりでした。LEDという新しい光源を照明として製品化するには、明るさだけでなく、ものを自然な色合いに見せる演色性と、光のムラをなくし美しく見せる配光という課題をクリアしなければなりません。当社ではこれらを「光品質」という言葉に凝縮し、「あかり」に対するこだわりを示すキーワードとしています。

当社では、すでに2007年からLEDの開発をスタートさせ、LEDをどう配置し、どう制御すれば照明にふさわしい光源になるのか、LED特有のグレア(まぶしさ)を抑えるにはどうすればいいのか、などの研究を重ね、2008年4月には住宅用LED照明の新シリーズ「cledy(クレディ)」を発表しました。

このノウハウをベースに、照明計画のプロフェッショナル部門であるLCR (Lighting Creative Room)が主導し、商業施設用LEDの商品開発・デバイス開発に取り組みました。その結果、従来の商業施設において主に使われていた、明るく演色性に優れたCDM(セラミックメタルハライドランプ)の70Wに相当する「光品質」を備えたLEDランプの開発に成功しました。

実際にLED照明を設置する現場で、当社が製品サンプルを使った点灯試験をお願いし、(株)パルコスペースシステムズ様の立会いのもとで、明るさや色合い、配光の美しさなどを厳しくチェックしていただいた結果、当社の製品は「光品質」のすべての項目において高い評価をいただきました。



協力会社  
ローヤル電器株式会社  
商品開発部 部門長  
**杉村 宣紀**



cledy ショップカタログ

### コイズミの照明器具が、街中にあふれるように

当社は、コイズミ照明さんの店舗用スポットライトやダウンライト、屋外スポットライトなど数多くの製品の開発、生産を担当しています。クリーンルーム設置の際や、日々のLED製品の開発では、技術や基準についての指導をいただくなど、常日頃から迅速かつ密接なコミュニケーションを図っていただいています。今後も、コイズミ照明器具を通じて、世の中に貢献できるよう、製品開発力の強化を図っていきたく考えています。

### 省エネで、働く人にもやさしい、 魅力あふれる「あかり」空間を創造

今回の「CO<sub>2</sub>削減プロジェクト」による店舗改装では、売り場の魅力を保ち、お客様に購買意欲を持っていただくため、LED照明を用いて「一押し商品を重点的に照らす」「ショップの奥を明るくする」「柱周りの照明は点灯する」などの方法で、光と影のコントラストによるメリハリのある照明計画を実施。消費電力量を削減することで、CO<sub>2</sub>排出量削減\*に貢献しました。

(株)パルコスペースシステムズ様には、改装後來店されたお客様から「以前より明るくなり入りやすい売場になった」とのご感想が寄せられています。また、店舗スタッフの方々からも「改装前の売り場に比べて、明るく活気のある働きやすい環境になった」と好評のようです。

今回の改装で(株)パルコスペースシステムズ様では、LED照明が生み出す光の効果や空間特性の把握がほぼ終了し、グループ全店へのLED照明の標準化指針を作成される予定です。そのため、今後は、パルコ全店で省エネ化の動きが加速し、省エネ型で高演色、低コストの照明器具の採用がさらに進むと予測されます。

その進展にとまじり、いっそう効果的・効率的な照明手法・計画が求められるなか、当社は、人の気持ちに響く光、心に届く光をつくり出すパートナーとして、既存光源にはないLEDならではの新しい提案に努めていく考えです。

また、震災の影響もあり、パルコグループ様が推進する節電対策も含め、今後大量のLED照明器具を短納期でご要望されるお客様が増えると予測されます。当社としては納期管理を含め万全の体制でお客様のご要望にお応えしていきます。

\*パルコグループ様は、主に電力使用量の抑制などで、2010年度は既存店前年値に対して、2.3%のCO<sub>2</sub>排出量を削減されました。



クライアント  
株式会社パルコスペースシステムズ  
エンジニアリング本部 環境企画部 計画課 課長  
**土屋 雅巳** 様

### 働く人の環境にまでこだわる姿勢に共感

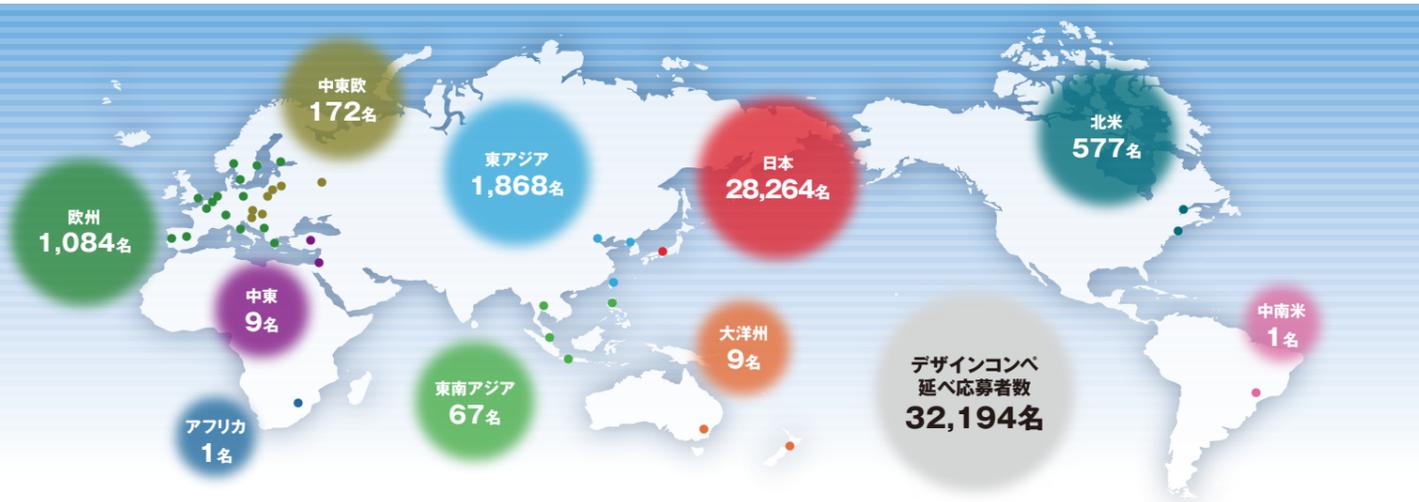
パルコ全店の共用環境照明設計・テナント照明監修、施工に携わる当社では、環境対応を重視した事業活動に取り組んでいます。商業施設の改装では、コイズミ照明さんから節電やCO<sub>2</sub>削減だけでなく、あかりの品質にこだわった提案をいただき、そこで働く人の環境にまで配慮する姿勢に信頼感を持ちました。顧客対応のスピード化が求められる時代です。今後も良きパートナーとして、すばい対応で協力し合えればと期待しています。

### OBAL

(Organize Business with Advanced Lighting)

東京ショールームに設けたOBALは、光から受ける人間の感覚・感情・心理・生理などをさまざまな角度から研究する設備や、さまざまな光環境を再現し、空間から受ける照度や色温度、演色性の違いなどを比較検証実験できる体感スペースを備えた、「光の本質」を探るラボラトリー施設です。住宅メーカー様をはじめ多くの企業様や教育機関の皆様にご利用いただいています。





## 照明文化の向上と若き人材の育成をめざす「コイズミ国際学生照明デザインコンペ」

コイズミ照明(株)は、20年以上にわたって、世界中の学生たちとともに、「あかり」のあり方を深く探求し続け、次世代の「あかり」の創造と照明文化の発展に貢献しています。

### 「あかりのありか」を考え続けて

コイズミ照明(株)は、「照明文化の向上と若き人材の育成」をめざして、1987年から「コイズミ国際学生照明デザインコンペ」を開催しています。毎年、地球と人間の未来に関わるテーマを世界中の学生に投げかけ、新しいあかりのあるべき姿について具体的な提案を募集しています。1992年の第5回からは、「Lighting Ecology」をグランドテーマに、「地球の持続可能性」をあかりの提案の必須要件として、学生たちにこれからのあかりを問い続けています。当時はまだ馴染みの薄かった「エコロジー」がテーマになったことで、社会の注目を集めることにもつながりました。



第23回募集ポスター



第24回募集ポスター  
あかりのありかを求めて...  
テクノロジーをいかに心のあかり  
-Heart of Technology-

### 文化はデザインの重要なファクター

金賞の受賞を知らされたとき、驚きのあまり信じることができず、受賞した現実を受け止めるまで30分程度要しました。まさに夢のような体験であり、一度限りのすばらしい高揚感と感動をもたらしてくれました。

私は日本の文化に大変興味があり敬愛しています。今回のテーマである「日食」も、日本文化の中で「光」とは「生」の象徴とされ、光が形態に命を与えます。この考えに基づいて、光によって形態が決まる照明をデザインしたことが受賞につながったと考えています。



第23回金賞受賞者  
デザイナー(ハンガリー)  
Péter Toronyi 様



第23回金賞受賞者作品「日食」

栗津 潔氏デザインの  
コイズミ国際学生照明  
デザインコンペの表彰状



### グローバルに広がる「あかり文化創造」支援ネットワーク

当コンペには、これまでに38か国からの応募があり、2011年までの応募者は、32,000人を超えるまでになっています。現在では世界の若手照明デザイナーの登竜門のひとつとして位置づけられ、各国の雑誌で紹介されているほか、世界のさまざまな地域のWEBサイトでも取り上げられるなど、地球の未来を考え続けていく企業活動として世界の各方面から高い評価をいただいています。

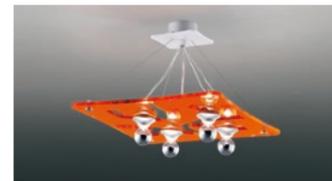
また、当コンペの入賞者の多くが、照明や建築デザインの分野の第一線で活躍しています。彼らを含む世界のトップクリエイターたちとのネットワークのなかで、当社が2003年から進めている商品開発活動「D-ACTION」は、未来のあかりを創造するための新たな原動力になっています。

当コンペは、照明器具業界からも、今後の活動継続に期待が寄せられており、当社はこれからも未来のクリエイターの方々をさまざまな形でサポートしていく方針です。

さらに今後はコンペと連動させて、あかりに関するさまざまな情報を発信し、照明の楽しさや奥深さをより多くの人々に伝えていきたいと考えています。

### D-ACTION

コイズミ独自のグローバルなネットワークを活かした世界のトップデザイナーによるシリーズ。クリエイターの圧倒的な個性、洗練されたデザインとともに明確な機能性を備えています。



デザイン/サラ・ダル・ガロ(第9回コンペ入賞者)



過去の受賞者  
成瀬・猪熊設計事務所  
首都大学東京 助教授  
猪熊 純 様

### 自分の考える「価値」を世に問うことの楽しさ

第17回の学生コンペで受賞した際、自分のアイデアが世界基準で認められたことが、とても嬉しかったのを記憶しています。また同時に、佳作だったことが悔しかった覚えもあります。あかりとは、それ自体とても小さなものですが、空間や時間の知覚に大きく関わります。そういったものに、まっすぐ向き合うきっかけを与えてくれるのが、学生コンペの最大の魅力だと思います。第23回の表彰式の前には、特別講演会もさせていただきました。今後は、若い審査員が加わるのも面白いかもしれませんね。

“ 出会った人の数だけ、視野が広がる ”

審査員の先生方はじめ、学校の先生や、入賞者の学生さんたち、事務局の学生バイトさんに至るまで、普通のお仕事では出会えない方々との出会いが事務局の醍醐味です。彼らが就職した後も交流があり、仕事という枠を越えた人間関係を築けることが、魅力だと感じています。

コイズミ照明(株)  
社長室・広報室  
コイズミ国際学生照明  
デザインコンペ事務局  
高木 彩



“ コンペは自らの可能性に気づく場 ”

当コンペを通じて、世界の多くの学生が照明デザインに興味を持っていることを知りました。また、韓国学生には高い潜在能力と豊富なアイデアがあることを知り、彼らの将来性に期待しています。今後も多くの学生が自らの可能性に気づくことを望んでいます。

コイズミ国際学生照明  
デザインコンペ  
韓国事務局  
Sae hee Jang



# お客様とともに、子どもにとって 最適な学習空間を考える コイズミファニチャープラザ

実際に学習家具を見て・触って・体験していただける、コイズミファニテック(株)の情報発信基地「コイズミファニチャープラザ」。お客様ごとに異なる最適な学習環境をご提案するとともに、お子様の生活と成長に役立つ情報を発信しています。



## コイズミファニチャープラザ

2010年5月に、大阪府箕面市から大阪市西区に移転しリニューアルオープンした、当社が運営するショールーム。学習机をはじめとした学習家具を中心に、大人のための生涯学習向けの家具もラインナップ。子どもから大人まで、永くご愛用いただける学習家具を展示しています。



## お子様の成長や 学習環境の変化に対応できるプランをご提案

学習デスクをはじめとした学習家具は、小学生から高校生ままで長年にわたって使われるもの。それだけに、お子様の成長に合わせたレイアウト変更や部屋の模様替えも考慮して選ぶことが大切です。

コイズミファニテック(株)のショールーム、コイズミファニチャープラザでは、「ステップアップデスク」をはじめ、お子様の成長に応じて柔軟に組み替えができることをコンセプトに開発した各種の学習家具を、さまざまなレイアウトで展示。実際にそれぞれの展開例の中で製品の使い勝手を体感いただき、お子様の年齢や家族構成などと照らし合わせながら、納得のいくまでご検討いただけるようになっています。

また、「子ども部屋のトータルコーディネートを考えたい」、「小学校低学年のうち、親の目が届きリビングやダイニングで勉強させたい」、「子どもの成長に合わせて買い替えたい」など、お客様からのさまざまなご要望に対して、当社の専任スタッフが単に製品のご紹介だけでなく、お客様の現状に応じて将来の状態までもイメージできる最適なプランを提案しています。

さらに、子ども部屋の学習家具の収まり具合や家具の配置をパソコン画面上でシミュレーションし、ご確認いただける「3Dレイアウトシミュレーション」サービスを実施するなど、さまざまな情報の提供を通じてお客様にとって最良の家具選びをサポートしています。



日々、丁寧な対応を心がけています

カタログやWEBサイトなどで、あらかじめ商品を決めて来られるお客様には、実物の機能的なご説明やお子様の成長に合わせた家具の組み替えのご質問にお答えしています。迷っておられるお客様には、ご要望をお聞きし、ご納得されるまで、じっくり丁寧に対応することをスタッフ全員で心がけています。

コイズミファニテック(株)  
コイズミファニチャープラザ  
森田 悠子



## 子ども部屋 「3Dレイアウトシミュレーション」

ご予約の際に間取り図をお借りして、あらかじめお客様の子ども部屋の3Dデータを入力し、当社の学習家具を配置して、ご来店の際に画面を見ながらご検討いただけるサービスです。



## ステップアップデスク STEP UP DESK

お子様の成長や部屋の広さに応じて、デスク本体と書棚を自由に組み合わせて、使い方をステップアップできる学習デスクです。



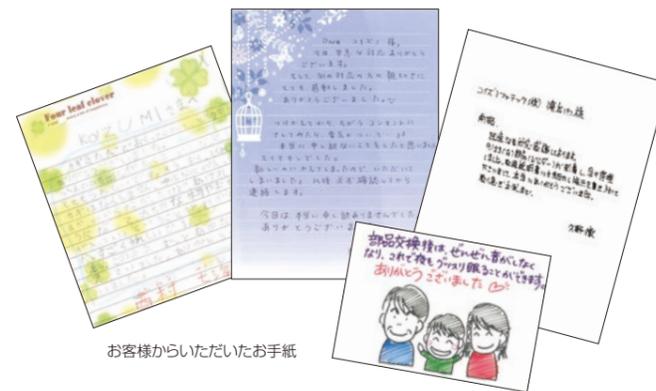
## キッズコンボ KIDS COMBO

ベッドと組み合わせることで、お子様の成長に合わせてベッド、机、書棚を分離してお使いいただける、コンボタイプの学習家具です。

## コイズミファニテック(株)の取り組み①

### コイズミ独自のカクテルライト「エコレディ」

LEDランプと蛍光灯の組み合わせで学習効率を高める、コイズミ独自の学習用スタンドです。光を上手にコントロールすることで、常に最適な学習環境を作り出します。



お客様からいただいたお手紙



ショールームに掲示している来館者アンケート結果



実物に触れて、最適な製品選びを

コイズミファニチャープラザは、実際に製品を触りながらご検討いただける体験型ショールームです。椅子に座ったときのお子様の姿勢を気にされるお客様も多いため、数多くの学習デスクと椅子のバリエーションの中から、お子様と一緒に最良の組み合わせをお選びいただくことができます。

コイズミファニテック(株)  
コイズミファニチャープラザ  
館長

熊澤 幸生



## 子どもたちの健康と安全に配慮した製品開発

当社は、1966年に学習機の販売を開始して以来、子どもたちの学習環境を科学し、健やかな成長を支える学習環境の開発と提案に取り組んでいます。学習家具が子どもの視力や姿勢、学習効率に及ぼす影響についても、大学などの研究機関と連携しながら研究を重ね、製品開発に反映しています。

そのひとつが、2010年に開発したカクテルツインライト「エコレディ」。蛍光灯にLEDを組み合わせた学習用スタンドで、「明るさ」だけでなく、「まぶしさ」や「光の色」までも考慮して開発したものです。蛍光灯の白い光は活発な思考を促し、LEDのオレンジ系の光は落ち着いた雰囲気をつくる効果があります。この違いを利用して、学習目的に合わせた照明環境を選べば、学習効率の向上も期待できます。

また、当社のショールームは、お子様の生活と成長に役立つ情報を提案する情報発信機能だけでなく、お客様から直接いただく声を、製品開発やサービス・品質の向上に役立てるための情報受信機能の役割も担っています。

たとえば、来場いただいたお客様に実施した「学習家具に求めるキーワードについて」のアンケートでは、約半数のお客様から「体にやさしい」という回答をいただきましたが、2010年度の定期検査において、トルエンやキシレンなどの揮発性有害物質を含まない塗料・接着剤を使用するという当社の基準を全製品で満たしていることを改めて確認しています。

さらにアンケート結果をもとに、移動が簡単で座るとしっかり固定できる「コロピタキャスター」を木製チェアに標準採用するなど、ショールームでいただいた声をお子様の健康と安全を第一に考えたモノづくりに反映させています。

## お客様の声を製品開発やサービス・品質向上に活用

ショールーム以外でも、お客様の声を伺う機会を積極的に設けています。

2010年には、当社製品をご購入いただいたお客様のお宅を訪問し、製品を使ってみた感想やご意見・ご要望をお聞きする「デスク選び応援隊」を結成。これまでのお客様とのコミュニケーションではなかなか掘り出さなかった実際の使用場面での詳しいご意見・ご要望が把握できるとともに、ご自宅でお話を伺うことで、お客様の本音をお聞きできる貴重な機会となっています。活動で得た情報は製品開発に活かすとともに、学習家具の購入をご検討中のお客様へのアドバイス情報としても活用しています。今後は、訪問したお客様宅の再訪問を実施し、その後の感想やご意見を聞く機会を設けてきたいと考えています。

また、当社の「お客様相談室」には、年間8,000件前後のお問い合わせが電話やメールで寄せられています。近年は、商品仕様についてのお問い合わせが急増しており、特に多いのが「ステップアップデスク」の組み換え方に関するものです。デスク、本棚、サイドテーブルが多彩に組み合わせできる分、部材同士のはめ合わせ方などわかりにくいところがあります。そこで、当社WEBサイトに詳細な説明ページを設け、イラストを見ながら組み換えができるようにしました。製品へのご不満などに関する情報は、その内容を分析するとともに、関連部門に伝達し、品質改善を求めています。今後も、お客様の声を製品開発や当社のサービス、品質向上に活用していきます。



お客様の声をWEBサイトに反映

2010年度は、お客様相談室には電話やメールで7,857件のお問い合わせ・ご相談が寄せられました。お問い合わせの多い相談については、WEBサイトの「よくある相談コーナー」に回答を順次掲載しています。お客様との接点であるだけに、顧客満足の向上を心がけていきます。

コイズミファニテック(株)  
商品部 品質保証課  
お客様相談室長

中南 明彦



## 安定性と機能性を融合させたハイブリッドチェア

木製チェアの安定性と回転チェアの機能性を融合した安心・安全な学習用チェア。座面が回転しないため、床に足が着かない状態でも落ち着いて机に向かえます。



### 部屋の広さと将来のレイアウトを考えて選びました

大きくなってベッドやデスク、シェルフが単体で使えるのが、購入のポイント。木の色目とアクセントカラーの白が良く合っていて、とてもかわいく気に入りました。シェルフがあるので、荷物が増えても収納に困らないし、デスクを買うまでは服を脱ぎっぱなしにしていたのが、きちんとハンガーにかけられるようになりました。



デスク選び応援隊 キッズコンポシリーズをお買い上げいただいた、小学1年生の娘さんを持つ  
大阪市 M様

### デスク選び応援隊

2010年にお客様の声を集めるために、学習家具をご購入いただいたお客様の自宅に当社が訪問。いただいたご意見を「先輩ママからの商品選びのアドバイス」として、WEBサイトに掲載し、ご購入を考えておられるお客様の参考情報にするともに、製品開発にも活かしています。



デスク選び応援隊 ステップアップデスクをご購入いただいた、小学5年生と1年生の姉妹を持つ  
堺市 H様

### 姉妹が仲良くステップアップ! 組み替え自由なデスクはやっぱり魅力

主人がコイズミデスクの愛用者だったので、娘にも同じメーカーのものを選びました。ステップアップデスクは、組み替えて本棚にもできるのが、購入のポイントです。妹のデスクも同じ部屋に置くので、イメージの近いタイプを選びました。お姉ちゃんのデスクはすでに本棚が大活躍していて、女の子らしくコーディネートされています。

# お客様に安心して長くお使いいただける 品質と安全性の確保のために

子どもたちの健やかな成長と未来を見据えた品質方針のもと、耐久性とデザイン性を追求する「ロングライフ設計」思想と、安全性を確保する独自規格に基づいた製品づくりで、お客様に永くご愛用いただける製品の提供に努めています。

## コイズミファニテックの品質方針

当社では、「お客様の健康を第一に考え((healthy))」、「安全・安心の製品づくり(safety relief)」、「優れた省エネ性能(eco energy)」を柱に据えた品質方針のもと、子どもたちの健やかな成長と未来のために、学習環境と地球環境に配慮したモノづくりに取り組んでいます。

## コイズミファニテックの品質方針



## 素材・デザインにこだわり、ずっと使える「ロングライフ設計」

コイズミファニテック(株)の製品は、製品の開発段階から「ロングライフ設計」という思想を取り入れ、お子様が成長し、大人になっても使っていただけるよう、十分な耐久性と長く使えるデザイン性を追求しています。

学習デスクには、耐久性に優れるナラやタモの天然木や、天然木と同等の質感を再現した代替素材「エコウッドイ®」などを使用し、長期間の使用に耐えうる品質と質感を確保しています。また、お子様の成長や学習環境の変化に合わせて書棚とデスクの組み合わせを自由に変えられる「スタイル可変型デスク」を業界に先駆けて開発し、「ステップアップデスク」として販売。お子様の成長のそれぞれの段階に応じて、レイアウトがきめ細かに設定できるため、環境が変わっても使いやすいとの評価をいただいています。

製品を永く使っていただくことは、資源の有効活用にもつながるため、今後も「ロングライフ設計」の思想に基づいた製品開発に取り組んでいきます。

## 独自の製品規格「KIS」に基づく試験によって、製品の品質と安全性を確保

当社の製品検査室では、日本工業規格(JIS)をベースにした当社独自の製品規格「KIS(Koizumi Industrial Standard)」で定めた基準に沿って、強度や環境性能、安全性などについての試験を繰り返し実施し、お客様に安心してお使いいただける品質と安全性の確保に努めています。

デスクの完成品については、社内の試験室で、側方水平荷重、垂直荷重、引き出し開閉繰り返しなどの強度試験を実施しています。

今後は、生産協力会社での出荷検査、当社での受け入れ検査を徹底し、レベルアップしていくと同時に、生産協力会社と当社の検査の判断基準を一致させることで、さらなる製品の品質と安全性の確保に努めていきます。

安心・納得していただける製品開発を

当社の製品は、販売店様などの流通を通じて、エンドユーザーに届けられます。お客様と接する販売店様の声を反映した製品開発が、私たちの使命です。社会や市場を理解し、お客様の声を聴き取ることは高い感受性を要しますが、業界をリードするコイズミらしく、お客様に安心・納得して使っていただける製品を開発していきます。

コイズミファニテック(株)  
商品部 開発課 製品開発室  
戸田 祐希利



## エコウッドイ®

植物繊維を主原料とし、成型熱圧したMDF(中質繊維板)に特殊下処理を施し、その表面にリアルな木目柄を直接印刷した素材です。天然木と遜色のない素材感を再現しました。当社ではこの素材を環境配慮型素材として位置づけ、この素材を使ったデスクを「エコウッドイ®」として商標登録しています。



## 厳しい品質要求があつてこそ「ロングライフ設計」

当社では、2000年モデルからコイズミファニテックさんの学習デスクを生産しています。製品出荷時のコイズミさんの厳しい品質要求に添えていくことが、日本のお客様に受け入れられるポイントであり、また、当社工場の実力を高めていくための良い刺激にもなっています。天然木の枯渇問題が加速していきなかつ、ひとつの製品を使い続けていただくことが重要だと思つています。そのためにも、長期間の使用に耐えうる製品づくりを常に念頭において、これからも努力していきます。



大連光明家具有限公司  
生産調度(生産管理)部長  
呂 久賢 様





## 「学習机」だけではなく、 「介護のコイズミ」をめざす

コイズミファニテック(株)がめざすものは、お子様の快適な学習環境の創造ではありません。

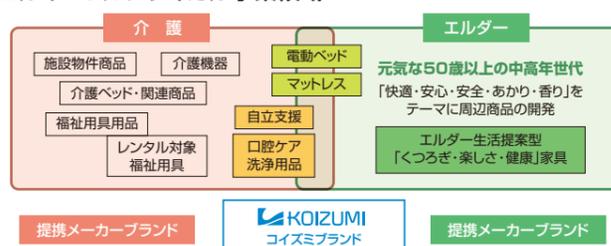
高齢化社会が進むなかで、元気なお年寄りから介護が必要なお年寄りまで、  
快適な暮らしを支援していくことも大切な役割であると考えています。

### 販売店様との密接なコミュニケーションで お客様のご要望を商品開発に活かす

高齢化が進むわが国では、エルダー、シルバー世代の方々が安心して快適に暮らせる社会が求められています。当社は、高齢者の自立を支援する電動ベッドの製造販売や各種介護用品のレンタルなど、シルバーエイジの豊かなセカンドライフを提案する「ウェルホーム&メディカル事業」を展開しています。

直営店を持たない当社にとって、製品販売を委託する販売店様の声は大切な情報源であり、常に密接なコミュニケーションを心がけています。和歌山県御坊市で介護用品を販売する「リフレHOMEシオジ」様も貴重なご意見をいただける販売店様のひとつ。電動ベッドの開発をスタートした際も、高齢者と直接向き合う中からいただいたご意見は、商品コンセプトを決めるにあたり大いに参考にさせていただきました。

#### ■ ウェルホーム&メディカル事業領域



専門性・特性・機能・強みを活かし、柔軟に対応した独自性のある商品の開発・調達を図りお客様に貢献できる商品を提供し続けます。



#### リフレHOMEシオジ

和歌山県御坊市にある「リフレHOMEシオジ」様は、介護用品販売・レンタル・住宅改修の専門店です。カタログ通販が主流の業界にあって、「来て、見て、触って、体験して!」をモットーに、介護福祉用品を多数展示。介護をする人・受ける人が納得して商品選びができるお店です。



#### らくアップモーション

1モーターのベッドで、背中部分が上がりきったときに、脚元がフラットになる機能。ベッドからの移動が従来に比べて快適になりました。

#### バックスライド

1モーター/背・脚2モーターのベッドで、起き上がる際の腹部の圧迫を軽減する機能。背上げ時にマットが約7cm後方にスライド。背抜きが楽になりました。

### “健全なお年寄り”の快適生活を支える 「インテリア性」と「安全性」を重視した製品づくり

当社の自立支援ベッドのコンセプトは、寝心地の良さと家具としてのインテリア性、そして寝起き動作のしやすさを備えていることです。高齢になるほどベッドにいる時間は長くなります。病院ベッドのような一時的な用途とは異なり、家庭で使うベッドには、快適な寝心地と部屋になじむインテリア性が求められます。また、元気なお年寄りでも、夜中にベッドを離れる回数は年齢とともに増えていきます。起き上がる際に楽な姿勢に誘うベッドの構造は、寝起き動作の安全性にもつながります。

今後も、使う人に長く愛される製品づくりの発想で、元気なお年寄りに快適な暮らしをお届けしていきます。

### 安全・安心を徹底する介護機器の洗浄・消毒施設「テックの泉」

自立支援ベッドの製造販売のほかに、介護機器・福祉用具のレンタル事業も展開しています。レンタル用品は、多くの人の手で繰り返し使われるもの。安全で衛生的に管理された用具を利用者にお届けしなければなりません。当社では、社内に介護機器・福祉用具の洗浄・消毒施設「テックの泉」を設置し、商品の回収・洗浄・消毒・保管・納品の一連の作業を、安全・衛生的に管理しています。2008年「テックの泉」は、社会法人シルバーサービス振興会による福祉用具の消毒工程基準をクリアした施設に認められる「消毒工程管理認定」を取得。消毒処理した福祉用具にSマーク認定シールを貼付して、利用者にお届けしています。



販売店様 有限会社リフレHOMEシオジ  
代表取締役 塩路 伸行 様

#### 現場の声を受け止めてくれる、コイズミは強い味方

もともと家具店だった当社がコイズミさんの自立支援ベッドに出会ったのは、ちょうど家具不況の頃。当時店内での自立支援ベッドの展示はめずらしいものでしたが、介護福祉用品を専門に扱う現在の形が生まれるきっかけのひとつになりました。私どものモットーは、実際に商品を見て安心して商品選びができること。我々が感じたことをコイズミさんが商品に反映する。これからもこの関係を大切に、互いに切磋琢磨していきたいと思っています。



#### 画期的な試みから生まれた良好な関係

自立支援ベッドを家具店で販売することは、学習機の販売を通じて家具店様とのお付き合いがあった当社ならではの画期的な発想でした。自立支援ベッドの品質にこだわることができたのは、家具店様からのアドバイスも大きかったと思います。

コイズミファニテック(株)  
ウェルホーム&メディカル事業部  
営業課 WHM営業所  
福祉用具専門相談員

上田 博昭



#### 清潔で安全なレンタル用品をお届けします

福祉用具のレンタル業務では、特殊寝台、車いす、歩行器など、12品目約400アイテムを取り扱っています。利用が終わった福祉用具は大阪事業所に併設の「テックの泉」に回収して、次のお客様にお使いいただけるように、洗浄・消毒・点検作業を行い、衛生的に保管しています。多くの方に清潔で安全な福祉用具を、快適にご利用していただくことを常に心がけています。

コイズミファニテック(株)  
購買業務部 生産管理室

宮坂 俊好





## 環境調和型ロジスティクスを展開し 最適な物流サービスを提案

小泉産業グループ各社のロジスティクス全般を担うコイズミ物流(株)は、  
運送実務の多くを委託している協力会社様とともに、環境負荷の低減をはじめトータルな物流品質の向上に努めています。

### コイズミグループのロジスティクス機能を担って

コイズミ物流(株)は、小泉産業グループの物流機能を担う一方、その経験  
とノウハウを活かし、グループ以外の幅広い業種のお客様にもそれぞれの  
ニーズに応じた最適な物流ソリューションを提供しています。関西・九州・関東  
・北海道に輸配送の物流拠点をもち、国内の主な地域に、出荷翌日に商品  
をお届けするネットワークを構築しています。

物流業界にとって、環境負荷の低減は大きな命題です。当社では、運送実  
務を委託する協力会社様とともに環境調和型ロジスティクスを展開し、物流  
におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減や省資源活動に取り組んでいます。たとえば、長  
距離輸送部分をトラック輸送から鉄道・船舶輸送に載せ替えるモーダルシフト  
や複数荷主様の商品を共同配送便にまとめる方法、隔日配送によるトラック  
の減車・減便、事業所内で使用する燃焼エンジン式フォークリフトをバッテ  
リ式へ置き換えるなどの取り組みを進めています。

当社では、これらの取り組みを通じて、2010年度のCO<sub>2</sub>排出量の削減  
目標を年間450トンに設定。結果として目標を上回る469.6トン(目標達成率  
104%)の削減が達成できました。2011年度は、前年度実績以上の削減  
を目標に、モーダルシフトや共同配送便集約によるトラック輸送のさらなる  
減車・減便に加え、倉庫・ターミナルの省エネ運用で、少しでも環境に負荷を  
かけない、環境調和型のロジスティクスへの取り組みを続けていきます。

2010年度コイズミ物流の輸送手段別  
CO<sub>2</sub>排出削減量



環境の面でも物流品質を追求します

輸送中の商品保護のために用いるフィルムや緩衝材は、荷造り加工に欠かせませんが、多用すると、資源の無駄や廃棄物が増えることにつながり、結果的に環境面での物流品質の低下につながります。メーカー様への梱包課題の情報提供など、協力会社様とともに、環境にも最適な物流サービスを追求する活動を続けていきます。

コイズミ物流(株)  
東大阪営業所  
原口 誠



### パートナー企業とともに物流品質の向上に努める

当社の全国物流の拠点である東大阪事業所では、協力会社である(株)日の出運輸様に、入出荷に関するターミナル業務と中国エリアの輸配送を委託しています。信頼する当社のパートナーとして、常に物流品質の向上についてコミュニケーションを交わしながら業務を進めています。

荷主様からまず求められる物流品質は、商品のできあがり品質がダメージを受けることなくお客様に届けられることです。最近では、外装ケースも商品の一部という考えが浸透し、中身に破損などの問題がなくても、ケースに傷や打痕、汚れがあることでクレームや返品の対象とされることがあり、物流品質に対する要求レベルが高くなってきています。ターミナルから出荷した商品は、途中で積み替えられ、ドライバーや複数の作業の手を経て届けられますが、最終的な物流品質の責任は私たちにあります。お客様から商品の汚損や破損などの苦情連絡があった場合は、当社が「クレーム改善報告書」を作成し、日の出運輸様の責任者、作業担当者とともに原因を究明し、改善策を講じています。



株式会社日の出運輸  
東大阪DCセンター長 兼 南港センターセンター長  
土井 健次 様

また、毎日ターミナルで作業するメンバー全員とミーティングを実施して、その日に受けた苦情連絡と改善対策を周知し、改善の徹底を図っています。月1回のパートナー会議でも月間の問題事象から業務の仕組みレベルの改善のために、互いに意見・提案を出し合い協議を重ねています。

さらに全国の拠点事業所では、四半期毎にエリアの協力会社様に集まっただけ、「品質会議」を開催しています。東大阪事業所でも、20数社の協力会社様と「西日本品質会議」を開催し、クレーム発生時の動向や当社からの要望のほか、協力会社様各社による品質向上の取り組みや社員教育の事例発表を通じて協働意識を高めています。また、他の拠点の品質会議の内容についても情報として集約・共有し、全国レベルでの物流品質の向上に活かしています。



### 互いに信頼し合えるパートナーとして

コイズミ物流様とは、単に委託請負業者の関係ではなく、起こる問題に対して、原因の究明から根本的な解決策を見出し、物流品質を向上させるために、お互いの仕事の仕組みにまで踏み込んで話し合えるパートナーであると受け止めています。また環境配慮においては、私たち運送会社は、公共の道路を利用して商品を運んでいることから、その地域や社会に対して大きな責任があります。当社も独自にISO14001の登録認証を取得しており、低燃費車両の導入や、毎月開催する安全指導教育会議のなかでドライバーにエコドライブの徹底を図るなど、荷主様、協働企業とともに環境負荷低減に貢献する取り組みを続けています。

物流品質は企業品質

当社は、小泉産業グループすべての物流業務のほかにも、日用雑貨・建材・食品などさまざまな業種のお客様の物流をお請けしています。今や物流品質は、商品品質・企業品質の一部です。これからも物流品質の向上に努め、それぞれのお客様に最適な物流サービスをご提案していきます。

コイズミ物流(株)  
東大阪営業所 所長  
渋谷 光朗



コイズミファニテック株式会社  
受注センター室長  
有本 等

### お客様に確実に商品をお届けするために、 効率の良い配送を共同で実施

コイズミ物流の大阪事業所(津守営業所)を拠点とした、学習家具、介護商品の全国輸配送を委託しています。特に学習家具については季節商品のため、入出荷が増える入学シーズン前の物流を確実にコントロールすることがお互いの重要な任務です。また、トラックの幹線定期便を減らしながら効率よく配送する取り組みも共同で推進しています。今後お客様からの信頼に応えるために、同社には物流業界の最新情報や新たな物流サービスの提案を期待しています。



東大阪事務所  
ターミナル

🖥️ コイズミ情報システム(株)の取り組み



## お客様の課題を解決する 人間力にあふれた企業として

コイズミ情報システム(株)は、「企業は人なり」の考えから、お客様のニーズに対応したシステムの提案・構築ができるよう、人間力の育成に重点を置き、お客様にご満足いただける高付加価値なサービスの提供をめざしています。

### お客様のその先のお客様にもご満足いただけるシステムを開発

コイズミ情報システム(株)が独自に開発したシステムは、業務の現場での課題を解決するとともに、その先の変化にも速やかに対応することで信頼をいただけてきました。

そのひとつ、「ACTION FACE(アクションフェイス)」は、顧客からのメールやFAXによる注文情報を確実・効率的に伝えるだけでなく、事業戦略ツールとしても活用するシステムです。最大の特長である自社開発の文字認識(OCR)機能をはじめ、さまざまな機能をお客様の事業における必要性に合わせて組み合わせることで、大量の受発注業務を迅速・確実に処理できるとともに、これらの情報をデータベース化して管理・活用することができます。

ご購入先様においては業務の効率化、データ活用、経費削減、また、顧客お取引先様には24時間注文や納期回答時間の短縮を可能にし、双方のお客様満足の上昇に役立っています。さらにペーパーレス化もできるため、環境負荷低減が可能なシステムとして、数多くの企業様にご導入いただいています。

今後も、お客様とのお取引先様との情報やモノの流れの効率化に貢献するさまざまな業務革新を提案していくことで、さらなる顧客満足の上昇に取り組んでいきます。

#### 情報・商流を知り尽くしているパートナーとして期待

当社が「ACTION FACE システム」を導入して実感したメリットは、まず、お客様にしっかりと情報が伝わること、業務に流れができたこと、そして誰にもわかりやすい仕組みであるということでした。

コイズミ情報システムさんからは、そのほかにもWEB受注システムやお客様サポートのためのCTIシステムも導入。昨年、中部、関西エリアの業務を拡大しましたが、業務の効率化だけでなく、お客様との確実なコミュニケーションによる顧客満足の上昇に役立っています。

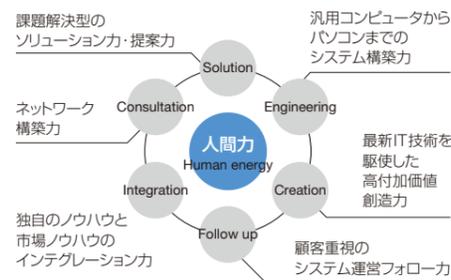


ご購入先様

住友ゴムグループ  
株式会社ダンロップモーター  
サイクルコーポレーション  
取締役 営業部 部長  
塚本 克彦 様

### Six Special Powers

コイズミ情報システムはお客様が直面するさまざまな課題に対し、6つの力を駆使して課題解決のお手伝いをしています。

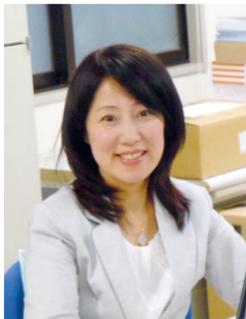


### 長年のお付き合いがご信頼の証し

(株)ダンロップモーターサイクルコーポレーション様とは、最初にACTION FACEシステムをご導入以来、10数年のお取引をいただいています。長年にわたり、当社のソリューション力を評価いただき、ご信頼いただいていることにやがいと誇りを感じています。当社のシステムが、さらにその先のお客様にも付加価値を生むよう常に心がけ、コミュニケーションを重ねて、これからもお役に立てる提案を続けていきます。

コイズミ情報システム(株)  
東京営業所

天野 妙子



🏠 (株)ハローリビングの取り組み



## 生活者の視点で、 省エネ・安心・安全・健康な空間づくりを

(株)ハローリビングは、省エネ・環境・セキュリティ・安全・快適・健康に配慮した、魅力ある商材の提案・販売・施工を通じて、お客様と感動を分かち合える企業をめざしています。

### 環境に配慮した、長く快適に住まうためのリフォームを提案

(株)ハローリビングは、照明器具をはじめとする住宅設備、内装製品など各種インテリア製品の提案・販売から、取り付け・施工までトータルなサービスを提供しています。住宅会社様やマンション会社様、各地の工務店様への提案を通じ、全国の戸建住宅やマンションをご購入されるお客様の快適で心地よい生活空間づくりをお手伝いしています。

また、2010年からは、既築住宅のお客様に対して、省エネルギー・安心・安全・健康な暮らしを提案するリフォーム事業を展開しています。断熱性・防音性・防犯性に優れた後施工タイプの二重内窓(住宅エコポイント対象工事)や、快適な湿度環境を保つ調湿壁材、床材の劣化を防ぎ、滑り止め効果の高いフローリング保護コーティングなど、新しい機能の設備や材料を活用し、お客様がより長く快適に住まうための環境を配慮したリフォームを提案しています。

### 「ESCO事業」への取り組み

当社は住宅分野以外での新しい取り組みとして、工場・倉庫やオフィスビルを所有されているオーナー様を対象に、施設設備の省エネルギー化を促進する「ESCO(Energy Service Company)事業」者としての活動を開始。オーナー様からご相談いただいた建物の照明や空調設備の省エネルギー診断に基づき、改修計画の立案・設計・施工管理など工事に直接関わるサービスを提供しています。



株式会社富士ビジネス様  
省エネ改修(LED照明化)



お客様の新しい暮らしに役立つプランを

新築やリフォームのお客様の照明プランやウインドウトリートメントのコーディネートをはじめ、エアコンなど設備機器のレイアウトをわかりやすく確認いただけるプランを作成しています。お客様のご希望を第一に考えたプランで、こちらのアドバイスやアイデアをお客様がご採用された時は、とてもやりがいを感じます。これからもLEDをはじめ省エネ製品の提案を通じ、新しい暮らしに役立つプランづくりを心がけます。

(株)ハローリビング  
インテリアコーディネーター  
杉本 郁子



# グループ全体で 人格の育成向上をめざす

## 確かな自己成長を感じる従業員教育で「働きがい」を育む

小泉産業(株)グループは、職種や階層を問わず、すべての従業員が自らの職務に対して持てる全能力を発揮し、生き活きと日々の仕事に向かえる「働きがい」のある企業をめざしています。そのために、一人ひとりの従業員の成長度合いに即した教育の場を設けて支援することを重点課題として取り組んできました。

その中で、小泉産業(株)グループ各社に共通する教育として年代ごとに実施する「階層別教育」(新人研修、3年目研修、基礎研修、中堅研修、幹部研修など)があります。これらは、生き方、働き方や物事に対する姿勢や気づき、価値観など、人として必要な考え方を学ぶ「道学」を土台に、業種業界を問わず必要な「実学」つまり、対人力や課題設定力、変革創造力など、社会人として基本的に必要なスキルを加えた教育です。

2010年度は、これら階層別教育に、従来から実施してきたグループ各社共通の課題別教育を加えて「コイズミアカデミー」として新たに体系化しました。また、グループ各社ごとに必要な業界特有の専門知識やテクニカルスキルについては各社が受け持ち、「高い専門性と意欲、そして成果を創出する能力を持つプロフェッショナルな人材」を育成するための教育を実践しています。これからも、一人ひとりが自身の成長を確かめながら、次の目標に向かう動機づけができる教育の仕組みを整え、従業員の「働きがい」の向上を図っていきます。



小泉産業(株) 人事部 室長 **黒本 雄二**



20年体験研修(屋久島)



中堅研修



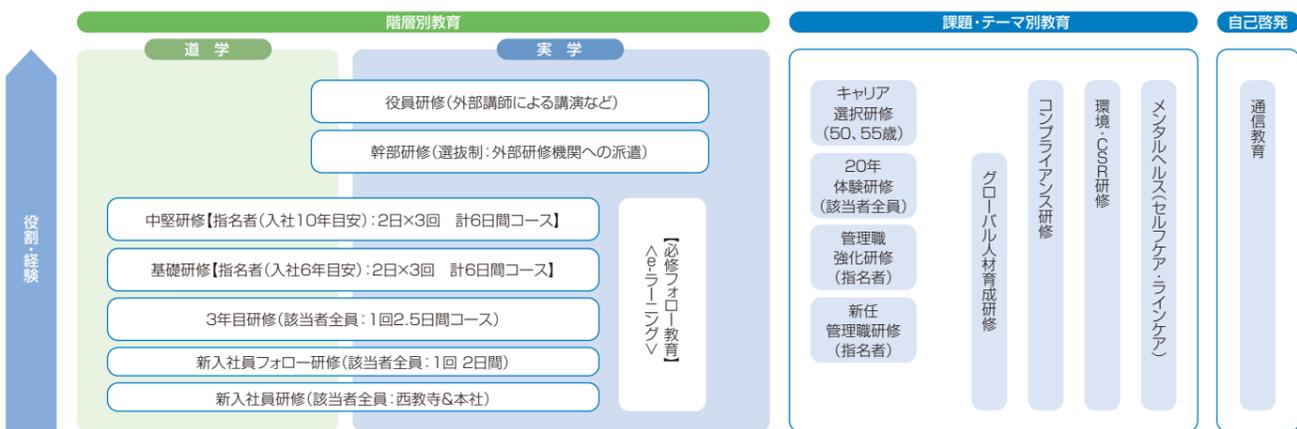
キャリア選択研修

管理者養成研修(物流)



新入社員フォロー研修

### コイズミアカデミー



## グループ各社の教育担当者から

### コイズミ照明(株)

当社の従業員に求められる照明に関する専門性については、製造加工技術、電子回路や素材の知識、規格・関連法規、照明計画・プラン提案に関する知識や技能など実に多岐に渡ります。近年、LEDが新しい光源として一般的に使われるようになり、今まで以上に多くの知識とスキルが必要です。



コイズミ照明(株) **松田 清孝**

営業系従業員への専門スキル教育では、プラン提案のレベルアップのための「照明設計認定」、お客様に対して行う照明セミナーの講師を認定する「照明インストラクター認定」といった社内認定資格を設け、養成研修を実施しています。技術系のスキルアップについても、資格体系の整備を進めており、さらに専門性のグレードを高めるという課題に取り組んでいます。

照明器具メーカーとしての思想醸成のため、全従業員が、それぞれに任された専門分野の知識やスキルを自主的・積極的に習得し、「存在価値ある社員」をめざす教育体系と風土づくりに取り組んでいます。

### コイズミファニテック(株)

当社では、全従業員のナレッジのレベルを引き上げることが重要だと考えています。毎年の経営方針の周知をはじめ、家具業界の動向、社会の変化、数値感覚、働き方のルールやマナー、コンプライアンスなど「コイズミファニテック社員の常識」を養うための教育を四半期ごとに実施し、毎回テストを行い、個々の弱点の補強に役立てています。



コイズミファニテック(株) **平井 善孝**

また、それぞれに必要なビジネススキル、マネジメントスキルを補い高めるために、外部のテーマ別教育セミナーの受講を推進。昨年度は56名(社員の8割)が延べ250講座を受講しました。業務の専門性を高めるために、商品開発部門ではCADによる設計技術の向上教育、お客様相談窓口部門では顧客満足のための対応スキルを磨く外部教育の受講を推進しました。

各種資格の取得については、全国で福祉用具レンタル事業を展開しているため、営業員の「福祉用具専門相談員」資格取得を推進。さらに幅広いお客様ニーズに対応できるよう「福祉住環境コーディネーター」資格取得も推進しています。

### コイズミ物流(株)

当社の従業員には、顧客満足のためのサービス、輸配送・保管のマネジメント、3PL事業者(物流業務を委託される専門のインフラを備えた第3の企業)としての考え方や知識についての専門性が必要です。また、業務に必要な倉庫業法、貨物自動車運送事業法、労働安全衛生法などの法令の認知も重要です。そのために、社内ではマネジメント能力研修、モーダルシフト推進教育をはじめ、外部でのロジスティクス専門基礎講座や物流



コイズミ物流(株) **藤本 俊夫**

実務研修などを活用した教育を行っています。

業務の安全確保に必要な資格に関しては、フォークリフト運転技能講習、運行管理者、整備管理者、倉庫管理主任者、防火管理者など、適切な人材を配置するための教育を実施。今後も業界動向の変化に対応するため、グリーンロジスティクス(環境配慮物流)や海外ロジスティクスについての教育の充実を図りたいと考えています。

### コイズミ情報システム(株)

情報技術は日々進化を続けており、新技術の習得は不可欠です。当社では、常に最新の技術に対応できるよう社内外における技術研修や啓発活動を行い、各種資格取得など専門分野の育成にも力を注いでいます。また、技術力だけでなく、お客様のニーズに対応したシステムの提案、構築ができるよう、想像力、提案力など、人間力の養成にも重きを置いています。



コイズミ情報システム(株) **芝野 英幸**

営業スタッフには、ITソリューションセールスを実践するためのノウハウとコンサルティング力を身につけることを推進。開発・運営スタッフには、システム構築のために必要なプロジェクトをマネジメントする能力を養成するための研修受講や、システム設計に必要な知識と技能を習得するカリキュラムを利用し、アプリケーションスペシャリスト、ITスペシャリストとしての実践力を養成する研修受講を計画的に推進しています。2010年度は社員のほぼ半数が、何らかの講座を受けました。担当職種によって求められる専門性は違いますが、IT企業として常にOS、ネットワーク、言語、データベースなどについて最新の動向と情報を把握し、全体の教育に反映しています。

資格教育については、基本情報技術者などの公的資格をはじめ、(社)全日本能率連盟によるITプランニングセールス(ITPS)資格などを積極的に取得することを推進しています。

### (株)ハローリビング

当社では、営業担当者が直接に施主様、ユーザー様と接する機会が多いため、住設機器やインテリア製品についての幅広い知識が必要です。毎年新製品が発売され、商品の入れ替わりがあるため、各メーカーの最新の商品情報を共有するための社内勉強会や、メーカーが行う研修会への参加は最善のお客様提案のためには欠かせません。



(株)ハローリビング **森 理則**

エアコンの据付けやカーテンの販売施工など工事や取り付けをとまなう商材については、現場に合わせた適切な判断と選択ができなければなりません。2010年度は、ダイキン工業(株)様の金岡研修場でのエアコン据付技能研修やマンション物件でのフロアコーティング実技講習などに参加し、施工管理能力の向上に努めました。

また、インテリアコーディネーター、リビングスタイリスト、電気工事士、ガス機器設置スペシャリストなど業務に応じた技能と資格の積極的な取得を推進しています。

# グループ全体で社会的価値の向上をめざします

## CSRマネジメント

### グループ全体を包括するCSRマネジメント体制を構築し、4つの要素を柱にしてCSRを推進

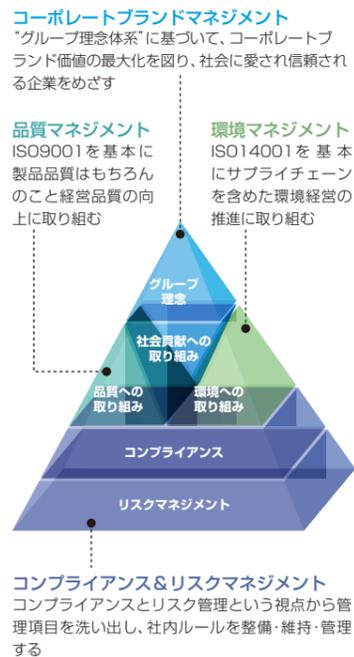
当社グループでは、創業の源流にある近江商人の“三方よし”の考え方のもとに、290年の歴史を通して、時代とともに変化する企業の社会的責任(CSR)を果たすべく努めてきました。

2005年度には、CSRに対する社会的関心の高まりを踏まえて、小泉産業(株)にCSR推進部を設置し、翌2006年度からスタートしたグループ経営体制のなかで、グループ全体のCSRを統合的に推進する体制を構築。グループ理念のもとで、「コンプライアンス&リスクマネジメント」「品質マネジメント」「環境マネジメント」「コーポレートブランドマネジメント」の4つを柱として、グループ全体でCSRを推進しています。

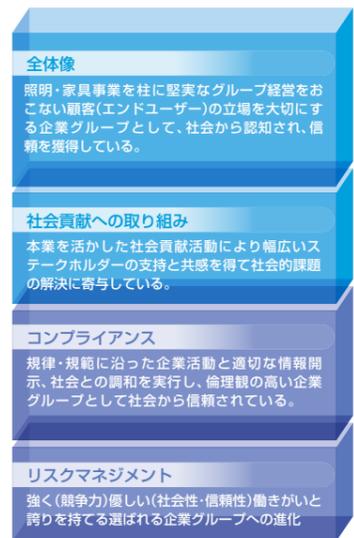
2010年度には、グループ各社が経営のなかで、それぞれのCSR課題に実践的に取り組むことをめざして、CSR推進部に替えて小泉産業(株)の経営推進部を事務局として、各戦略子会社の現場中心のCSR活動を支援していく体制としました。同時に、CSR活動の原点である従業員一人ひとりの働きがいと各社の有機的活動によるブランド価値向上のビジョンをグループの経営方針としてまとめ、2011年度の各社経営方針に反映させました。

また、従来、各社それぞれに取り組んでいた社会貢献活動については、2009年度に「社会貢献指針」を制定し、グループ共通のテーマを設定して取り組んでいます。

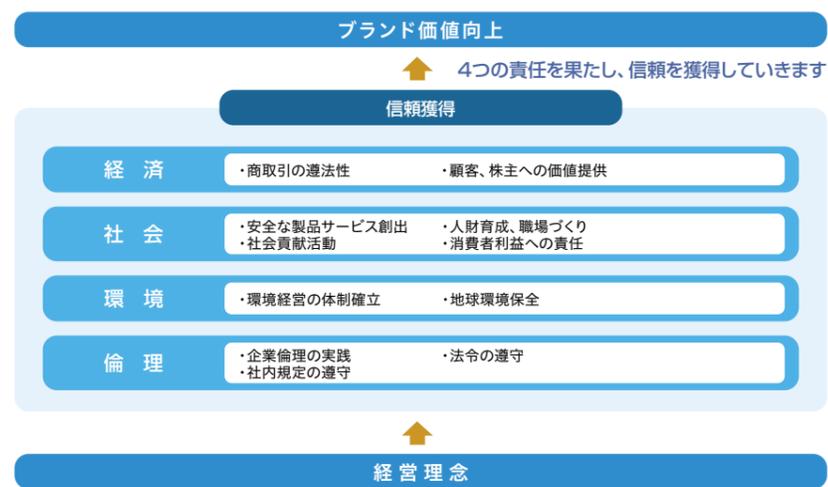
### CSRマネジメントの構造



### グループのあるべき姿



### グループ価値(各社価値の総和)を高め、社会から要請されるCSR活動を実践します



## コンプライアンス&リスクマネジメント

### 意識向上の教育と啓蒙活動を継続的に実施

当社グループでは、法令規制を土台に、グループ倫理行動ガイドライン、グループ諸規定の三階層を、取り組むべきコンプライアンスの範囲と定義しています。「倫理行動ガイドライン」は2006年にコンプライアンス推進の基礎として制定したもので、これを従業員の行動レベルにまで定着させるため、継続的な教育活動や毎年10月の「コイズミ倫理月間」を活用した社内周知に取り組んでいます。

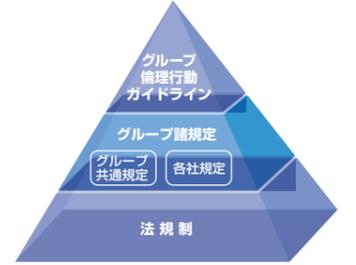
2010年度は、「コンプライアンス=社会とのよりよい関わり合いを実現すること」という原点回帰を主眼に、「社会とのよりよい関わり合い」「倫理行動ガイドラインのケーススタディー」をテーマにした「コンプライアンス入門研修」を実施。また、2010年度の「コイズミ倫理月間」では、「誠実な企業活動」「人間・人権の尊重」「社会・地球環境との調和」の3つを倫理行動のテーマとした啓蒙活動を実施しました。

一方、当社グループが抱えるリスクは、各社の法務リスク、業務リスク、事業継続リスクなど多岐に渡っており、それぞれのリスクに応じたリスクマネジメントに取り組んでいます。

2010年度は、適法行為を担保すべき法務リスクについて、グループ全社に対する下請法遵守状況の調査を実施。問題点の抽出と改善対応にあたりました。また、個人情報保護法に関して、お客様と接する各ショールームの従業員に対する教育活動を実施しました。

業務活動の安全性を担保すべき業務リスクは、リスク内容が事業ごとに異なるため各社各部門の対応を基本としていますが、今後は各社事例のグループ内活用促進など、全社視点からの取り組みの設定を課題に取り組んでいきます。

### グループ会社のコンプライアンス規定体系



### コンプライアンス教材ツール



### コイズミ環境理念

私たちは、企業活動と地球環境・生命保全との調和を図り、持続可能な「循環型社会」構築に向け、ゆたかで優しい「快適環境製品・サービス」の提供、提案を通じ、良き企業市民としての社会的責任を果たします。

### 内部環境監査



内部環境監査では、改善のためのきっかけを見つけます

## 環境マネジメント

### ISOを主体に、持続可能な社会形成に向けた経営を推進

CSRマネジメントを構成する要素のうち「環境マネジメント」については、国際規格である「ISO14001」に基づく活動を推進しています。2002年に本社と東大阪事業所で認証を取得して以来、国内グループの主要拠点で認証を取得。2010年度には、グループ8社、10事業所で認証取得を完了し、国内グループ全体に占める認証取得事業所の従業員数割合は約7割になっています。

また、2008年にはグループ各社共通の「環境管理規定」を制定し、ISO14001の認証取得事業所以外でも環境保全活動に取り組むなど、グループ全体で環境負荷低減による持続可能な社会形成に向けた経営に取り組んでいます。

## 全国で地域清掃活動を実施

当社グループの各事業所では、地域に貢献する統一活動として地域清掃を推進しています。2010年度も北海道から沖縄までの各事業所で、通勤路や公園など実施するエリアや方法を決め、自主的に継続できる地域貢献活動として取り組みました。こうした活動は、近隣の皆様とのコミュニケーションが生まれるきっかけにもなっています。



## 「使用済み切手」収集ボランティアで途上国の妊産婦と女性を守る活動を支援

2009年度から始めた国際NGO・ジョイセフ(家族計画国際協力財団)への「使用済み切手」寄贈活動も2年が経過し、当社グループの全国の事業所から集まる切手の量も増えてきました。寄贈した切手は換金されて、アジアやアフリカなどで「命を救う足」として婦人医療のために使われる再生自転車を現地に送る輸送費として役立てられています。2010年度は合計4.6kgを寄贈することができました。



## NPOと連携してAED救命講習会の開催に協力

当社グループは、全国のコイズミ照明(株)のショールームや来客者の多い事業所など7ヵ所に、AED(自動体外式除細動器:突然心停止した人に除細動と呼ばれる電気ショックを加える装置)を設置しています。

また、大阪地区では、AEDを使った心肺蘇生法の普及を図るNPO大阪ライフサポート協会が開催する一般市民対象のAED講習会に、小泉産業(株)本社の大会議室を会場として提供しています。2010年度は計4回の講習会が開催され、52名の方が参加されました。

2011年度は会場提供の回数を増やすとともに、近隣の企業にも参加を働きかけていきます。



AED講習会

## 「社長と語る会」を開催

2010年度に小泉産業(株)の社長に就任した梅田社長とグループ子会社の社員によるコミュニケーションの場「社長と語る会」を、2010年9月から11月にかけて開催しました。これは、普段なかなか接する機会のない社長と各社の若手社員が会社の方向性やビジョンについて語り合い、相互の理解を深めるために企画されたものです。小泉産業をはじめ、コイズミ物流、ハローリビング、コイズミファニテック、コイズミ情報システムの各社を対象に、合わせて4回開催されました。

第一部は仕事中心の話題、第二部はフリーテーマで進められましたが、3時間余りの中で最初の緊張も徐々にほぐれ、最後には両者意気投合。今後のコミュニケーションの礎をつくるという目的は達成できたと考えています。今後、この会は対象会社とエリアを拡大して継続していく予定です。



第一部



第二部



ともに未来をめざして

## 森の再生に取り組む地域協力「生駒の森運営協議会」活動に参加

大阪府民のみどりの象徴でもある生駒山系を命育む豊かな森にするため、東大阪市域を中心とする自治体、教育機関、地元有志企業が協力して取り組む「生駒の森運営協議会」活動に参加しています。

社員がボランティア参加するこの活動も6年目に入り、2010年度もさまざまな企業や団体の方々と協力して、生駒山中腹の新たな活動区域の間伐活動を行いました。

また、社内に設置する飲料自販機の売上の一部を、当活動を支える(財)大阪みどりのトラスト運動への募金にあてる協力も継続して実施しています。



間伐により陽が差し込み、植生が活性化する森になる

## 「企業のコンプライアンス」をテーマに、大学への出前講義で学生の社会教育を支援

小泉産業(株)では、2008年度から法務担当の社員が、関西の大学生を対象に「企業のコンプライアンス(法令遵守)」を題材にした出前講義を行っています。実社会におけるコンプライアンスの位置づけや考え方について、当社グループ社員向けに使用している教材を用い、学生にもわかりやすい内容を心がけて実施しています。インターンシップや就職活動と大切な時期を控えた大学生が、就職前に企業の法令遵守について学ぶことができるこの活動は、学生だけではなく社会全体に有益な働きかけであると考えています。

2010年度は4回の出前講義を実施し、約300名の学生が受講しました。受講後の感想レポートから学生の反応とニーズを確かめ、さらに講義内容の充実を図っていきます。



大学での出前講義

# 快適な空間づくりのパイオニアとして

グループ経営理念にある「新しい着眼と独自の発想」から生み出された数多くのKOIZUMIブランドの製品は、常に市場に新鮮な驚きと好感をもって受け入れられてきました。これからも快適な空間づくりのパイオニアとして、人と社会に夢と感動を提供し続けていきます。

## KOIZUMI HISTORY

- 1716 創業 始祖小泉武助行商開始
- 1738 近江屋新助商店設立
- 1871 近代創業 立木屋森之助商店開設(大阪)
- 1904 社章を▼に制定。「小泉合名会社」設立
- 1941 株式会社小泉商店設立
- 1943 大阪で航空機ゲージの加工販売業・五光精機工業を買収し、五光精機工業株式会社設立

- 1946 社名を「小泉産業株式会社」に変更 電気、ガス、石油器具を主とした製造卸業を開始
- 1953 東京営業所開設
- 1957 照明市場へ本格参入
- 1961 広島営業所、福岡営業所開設
- 1962 名古屋営業所開設
- 1967 家具市場へ本格参入

- 1978 大阪商工会議所から「企業百年」で表彰を受ける
- 1981 (株)マテック(現:コイズミ照明デバイス)、(株)ハローリビング設立
- 1986 CIシステム導入(ヒカリブランドからコイズミブランドへ転換)
- 1987 コイズミ国際学生照明デザインコンペ創設
- 1989 新創業 商事事業部門分離(小泉成器(株)設立)

- 1991 直営照明器具製造工場・コイズミライティング(株)設立
- 1995 コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.設立
- 1999 コイズミ物流(株)設立

- 2000 中国 東莞事務所開設
- 2001 照明事業 ISO9001認証取得 中国 大連事務所開設 P.T.コイズミインドネシア設立
- 2002 ISO14001認証取得 (株)コスミック(現:コイズミ情報システム)設立 小泉産業(香港)有限公司設立

- 2005 家具事業 ISO9001認証取得
- 2006 照明・家具事業を分社 小泉産業(株)を株式会社とするグループ経営体制へ移行 克茲米商貿(上海)有限公司設立
- 2008 東莞克茲米家電科技諮詢有限公司設立
- 2009 東莞小泉照明有限公司設立
- 2010 青垣コイズミ照明(株)設立 小泉家具(大連)有限公司設立

### 1716~ 1940~ 1950~ 1970~ 1980~ 1990~ 2000~ 2005~

#### 1953 燃料ルートから家電ルートへ 石油コンロ

昭和28年、石油を燃料とする新しい調理器具、石油コンロを開発。この種の商品は燃料店で販売されていましたが、当社が初めて電気店ルートで販売を開始し、予想を超える大ヒットとなりました。



#### 1965 デザイン豊かなあかりで暮らしを楽しむ インテリア照明

昭和30年代、照明はまだただ照らすだけの道具でした。コイズミは暮らしに夢と豊かさを提供するため「あかりはインテリア」のキャッチフレーズのもと、照明器具にデザイン性を吹き込み、選ぶ楽しみや使う喜びにあふれる華やかな照明の分野を築きました。



#### 1967 料理のできるダイニングテーブル クックテーブル「晚餐」

住居の洋風化に合わせてダイニングテーブルを販売するなかで、コイズミは鍋料理の不便さに着目。ガスコンロの準備の手間をいかに省くか。こんな出発点から料理のできるダイニングテーブル「晚餐」が開発されました。発表直後から新しい生活提案として爆発的にヒットしました。



#### 1971 照明器具付学習机 ライダーデスク

昭和41年、めざましい経済発展によって人々の生活にゆとりが生まれ、教育熱が高まりました。これにともなう子ども部屋、勉強機の需要が活発になってきました。コイズミは、自社の照明技術を活かして、業界初の「蛍光灯付学習机・蛍雪」を発売。46年には蛍光灯+白熱灯の「ライダーデスク」を発表。仮面ライダーのキャラクター人気と合わせ空前の大ヒットとなりました。



#### 1973 年間通じて使える新コタツ 家具調コタツ「四季の集い」

昭和48年には家具調コタツ「四季の集い」を開発。それまでのコタツの概念から離れ、インテリア性の高い座卓に暖房機能を付加した製品は、年間を通じて使える全く新しいジャンルの家具として一世を風靡しました。



#### 1978 棚を外せば高校まで 6・3・3で12年

それまで学習机と言えば、本体と棚の一体型が主流でした。コイズミは上級生になれば、平机として永く使えるよう棚の取り外しと素材・構造の耐久性を実現し、「6・3・3で12年」のキャッチコピーとともに、広く普及しました。



#### 1987 学生を対象とした世界唯一の照明コンペ コイズミ学生照明デザインコンペ

1987年、若き人材の育成と照明文化の普及を目的に、世界の学生を対象とした照明のデザインコンペを創設。他に類を見ない当コンペはたくさんの方々の賛同をいただきながら、以来23年間に世界41か国、3万人の学生が参加。受賞者たちは照明、建築、インテリアなど各分野で活かしています。



#### 1988 時代を変えた省エネ照明 インバータ照明器具

省エネの潮流を背景として、高効率、静音、瞬時点灯などの特長を持つ照明のインバータ回路が開発されましたが、コイズミは専門業界でいち早く製品化に取り組み、充実の品揃えで皆様のご要望にお応えしました。



#### 1990 学習機の新しい常識 インバータデスク

照明の分野で早くからインバータ器具の開発に取り組んでいたコイズミは、学習デスクの照明にも業界に先駆けてインバータライトを導入。これによってデスクの新しいスタンダードを確立しました。



#### 1990 体感型照明ショールーム コイズミライティングシアター/イズム

照明器具から出る光がどんな空間をつくり出すか、これが商品を見るだけではわからない照明選択の泣き所でした。コイズミはショールームづくりに「体感」の概念を導入し、従来のコーディネート中心の考え方に新風を吹き込みました。各種のシミュレーション装置によって納得のいく器具選びが実現しました。



#### 1991 クセ字を学習する発注書読取システム FACE(フェイス)

「手書き文字のコンピュータ読み取り」は受発注の効率化には避けて通れないテーマでした。この解決手段のひとつに人が機械用の文字を書くOCR方式がありますが、コイズミの情報システム部門は人それぞれの文字を癖まで読み取るシステムを開発。極めて高い読み取り精度が認められ商品として販売を開始。現在も多数の企業にご採用いただいています。



#### 1994 ファンクション&コンパクト 生活家具

80年にコイズミが打ち出したコンセプト「家具=生活道具」は、常に暮らしを見つめる姿勢から生まれたものです。そして94年、ついに次のステージのキーワード「生活賢具」が生まれました。発売されたアイテムはすべて、知恵のある道具としてお客様を唸らせました。



#### 1998 その空間に最適な光を生み出す E.L.H.

住宅のそれぞれの空間に必要な光はどんな光か。この課題に真正面から取り組んだ製品群がE.L.H.(Environment Lighting Harmony)です。目的配光と高効率化を独自の配光制御技術によって高度な次元で両立したシリーズです。以降、本シリーズは毎年拡充され、その後の住宅照明のあり方に大きな影響を与えました。



#### 2003 照明のワールドワイドデザイン D-ACTION

コイズミ独自のグローバルなネットワークを活かした世界のトップデザイナーによるシリーズです。クリエイターの圧倒的な個性、洗練されたデザインとともに明確な機能性も備えています。



#### 2003 学習家具のワールドワイドデザイン K-ACTION

子どもの生活研究をベースにデザイン活動を行うイタリアのデザイナーと、子ども部屋家具のノウハウを持つコイズミのコラボレーションから生まれた新ジャンルの製品は、これまでの学習家具の流れを一変させるものとして内外から大きな期待が寄せられました。



#### 2006 21世紀の学習家具のトレンド ステップアップデスク

「机+上棚」から「机+書棚」への発想転換。これによって机と書棚が合体式、分離式どちらでも使えるようになり、お子様の成長に合わせてレイアウトも使い方も自由自在にステップアップできるようになりました。翌年発表された業界の新製品の主流は、ほとんどがこの方式となりました。



#### 2007 あかり文化を創造する新拠点 OBAL

光の探究は照明専門メーカーとしての使命です。2007年夏、コイズミは光の本質を探る独自の研究施設を開発し、東京ショールーム上層階に「OBAL」と命名して開設しました。国内外のクリエイターや異業種各社と手を携え、空間の可能性を探り続けています。



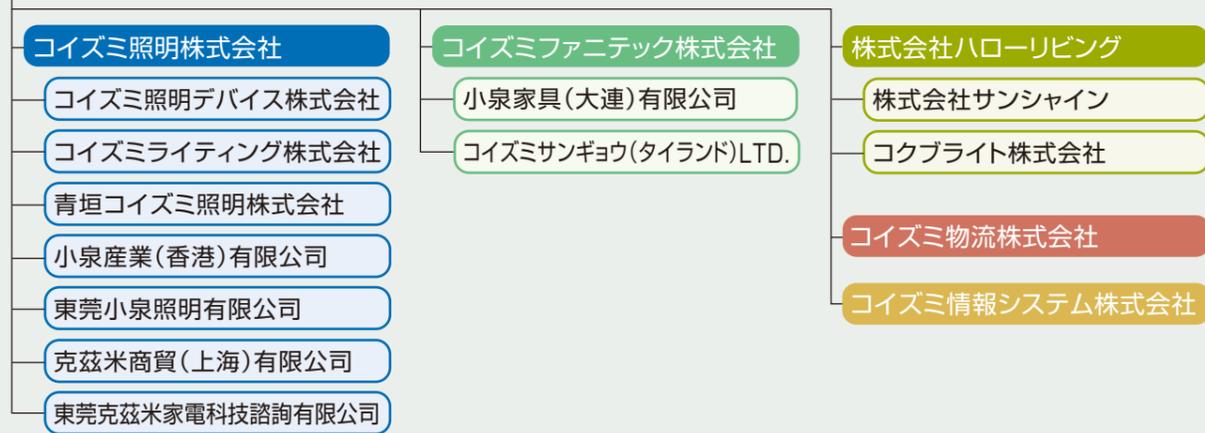
#### 2008 世界で初めて製品化に成功 超高演色LED

2008年、環境の時代の最先端の光源であるLEDを搭載した「cledy」シリーズを発表。2009年には、山口大学との共同研究により、平均演色評価数(物の色を自然に見せる度合)97という驚異的な性能を世界に先駆けて開発。「快適な視環境づくり」をめざすコイズミが、LEDの新たなステージを築きました。



## 小泉産業株式会社グループ

### 小泉産業株式会社



### 小泉産業株式会社

商号 小泉産業株式会社  
 本社所在地 〒541-0051  
 大阪市中央区備後町3-3-7  
 代表者 代表取締役社長 梅田 照幸  
 創業 1716年(享保元年)  
 設立 1943年6月25日  
 資本金 1,575百万円  
 従業員 33名(単独) 1,374名(連結)  
 事業内容 持株会社  
 子会社 16社(うち連結対象 8社)  
 売上高 42,238百万円(連結)

### コイズミ照明株式会社

商号 コイズミ照明株式会社  
 本社所在地 〒541-0051  
 大阪市中央区備後町3-3-7  
 代表者 代表取締役社長 梅田 照幸  
 設立 2006年4月1日  
 資本金 450百万円  
 従業員 574名  
 事業内容 照明器具の企画・開発・製造・販売  
 売上高 27,675百万円

### コイズミ照明デバイス株式会社

商号 コイズミ照明デバイス株式会社  
 本社所在地 〒579-8025  
 大阪府東大阪市宝町12-5  
 代表者 代表取締役社長 梅田 照幸  
 設立 1981年6月8日  
 資本金 10百万円  
 従業員 15名  
 事業内容 LED用部材・電子安定器・ランプ・他照明器具構成部品の販売及び輸出入、照明器具組立  
 売上高 8,625百万円

### コイズミライティング株式会社

商号 コイズミライティング株式会社  
 本社所在地 〒529-1512  
 滋賀県東近江市大塚町1289-2  
 代表者 代表取締役社長 村上 貴英  
 設立 1966年10月20日  
 資本金 100百万円  
 従業員 110名  
 事業内容 照明器具の製造  
 売上高 3,003百万円

### 青垣コイズミ照明株式会社

商号 青垣コイズミ照明株式会社  
 本社所在地 〒669-3841  
 兵庫県丹波市青垣町  
 口塩久町733-5  
 代表者 代表取締役社長 中島 誠一  
 設立 2010年4月5日  
 資本金 80百万円  
 従業員 123名  
 事業内容 照明器具の製造  
 売上高 2,099百万円

### 小泉産業(香港)有限公司

商号 小泉産業(香港)有限公司  
 本社所在地 22nd Floor, Prince's Building,  
 Central, Hong Kong  
 代表者 董事長 梅田 照幸  
 設立 2002年3月11日  
 資本金 HK\$1,200,000  
 従業員 2名  
 事業内容 照明器具の企画・開発・製造・販売  
 売上高 HK\$183,761,000

### 東莞小泉照明有限公司

商号 東莞小泉照明有限公司  
 本社所在地 No.12, Information & Industry  
 Garden, Xihu District, Shilong  
 Town, Dongguan City,  
 Guangdong Province, P.R.China  
 代表者 董事長 谷垣 正則  
 設立 2009年7月20日  
 資本金 HK\$2,000,000  
 従業員 189名  
 事業内容 照明器具の開発設計・組立製造・販売  
 売上高 60,300千元

### 克茲米商貿(上海)有限公司

商号 克茲米商貿(上海)有限公司  
 本社所在地 Rm.1103, Zhijun Mansion  
 No.1223 XietuRD,  
 Shanghai, China  
 代表者 董事長 長嶺 正和  
 設立 2006年11月15日  
 資本金 US\$400,000  
 従業員 24名  
 事業内容 照明器具の企画・販売他  
 売上高 27,386千元

### 東莞克茲米家電科技諮詢有限公司

商号 東莞克茲米家電科技諮詢有限公司  
 本社所在地 3F, No.28, Wenquannan Lu,  
 Shilong Town, Dongguan City,  
 Guangdong Provinces, China  
 代表者 董事長 梅田 照幸  
 設立 2008年6月2日  
 資本金 US\$250,000  
 従業員 33名  
 事業内容 家電・照明器具の企画・開発、照明設計、品質管理等のコンサルティングサービス  
 売上高 3,664千元

### コイズミファニテック株式会社

商号 コイズミファニテック株式会社  
 本社所在地 〒557-0063  
 大阪市西成区南津守2-1-30  
 代表者 代表取締役社長 永安 勝壽  
 設立 2006年4月1日  
 資本金 80百万円  
 従業員 77名  
 事業内容 学習環境家具及び介護機器等の企画・開発・製造・販売  
 売上高 5,319百万円

### 小泉家具(大連)有限公司

商号 小泉家具(大連)有限公司  
 本社所在地 12/F, Senmao Building, 147  
 Zhongshan Road, Dalian, China  
 代表者 董事長 永安 勝壽  
 設立 2010年5月5日  
 資本金 US\$210,000  
 従業員 2名  
 事業内容 学習環境家具・インテリア雑貨の小売卸売  
 売上高 443千元

### コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.

商号 コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.  
 本社所在地 26th Floor ITF Tower-  
 140/64 Silom Road Bangrak  
 Bangkok 10500  
 代表者 代表取締役社長 宗本 邦嗣  
 設立 1995年5月24日  
 資本金 5,000,000/バーツ  
 従業員 7名  
 事業内容 家庭用家具・店舗用家具・特注家具・店舗用仕器の企画・開発・製造・販売  
 売上高 63,341,000/バーツ

### 株式会社ハローリビング

商号 株式会社ハローリビング  
 本社所在地 〒579-8025  
 大阪府東大阪市宝町12-5  
 代表者 代表取締役社長 石尾 泰裕  
 設立 1981年7月2日  
 資本金 20百万円  
 従業員 27名  
 事業内容 住宅設備機器の販売・取付工事  
 売上高 1,485百万円

### 株式会社サンシャイン

商号 株式会社サンシャイン  
 本社所在地 〒813-0034  
 福岡市東区多の津3-7-29  
 代表者 代表取締役社長 石尾 泰裕  
 設立 1975年7月1日  
 資本金 10百万円  
 従業員 10名  
 事業内容 住宅設備機器の販売・取付工事  
 売上高 392百万円

### コクブライツ株式会社

商号 コクブライツ株式会社  
 本社所在地 〒899-5102  
 鹿児島県霧島市隼人真孝202-2  
 メゾン隼人1-C  
 代表者 代表取締役社長 石尾 泰裕  
 設立 1985年3月20日  
 資本金 10百万円  
 従業員 4名  
 事業内容 住宅設備機器の販売・取付工事  
 売上高 136百万円

### コイズミ物流株式会社

商号 コイズミ物流株式会社  
 本社所在地 〒579-8025  
 大阪府東大阪市宝町12-5  
 代表者 代表取締役社長 阿部 邦夫  
 設立 1999年5月25日  
 資本金 50百万円  
 従業員 98名  
 事業内容 貨物自動車運送取扱事業、貨物自動車運送事業、倉庫業、物流システム開発販売業務、物流コンサルタント業務、引越し・据付業務、その他上記に付帯する関連業務  
 売上高 4,125百万円

### コイズミ情報システム株式会社

商号 コイズミ情報システム株式会社  
 本社所在地 〒556-0005  
 大阪市浪速区日本橋5-8-21  
 代表者 代表取締役社長 権藤 浩二  
 設立 2001年10月1日  
 資本金 30百万円  
 従業員 51名  
 事業内容 IT関連のソフト開発及びコンピュータ機器販売  
 売上高 1,125百万円

(売上高は2010年度実績)

### 編集後記

3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。  
 当社グループといたしましても被災地の復興のため、それぞれの事業を通して貢献できるように、これからも取り組んでまいります。  
 さて、今回で第7号になります本レポートでは、グループ各社が社内外のステークホルダーの皆様とのコミュニケーションにより、課題解決や新しい取り組みが生まれる場面をお伝えすることをテーマに編集を進めました。  
 当社グループが独善的ではなく、社会から求められる企業としての責任を果たすためには、さまざまな方々との関わりからいただくご意見を、正しく受け止める力が備わっていただければ幸いです。私たち

にとって今回のレポートづくりは、そのことについてのひとつの検証を得る活動でもありました。お得意先様をはじめ、作成にあたり取材にご協力いただきました皆様に、ここにあらためて心よりの感謝を申し上げます。  
 なお、昨年より当社グループについてのご理解を深めていただくために、それぞれの事業内容と、290年以上にわたる企業のあゆみについてのご紹介もさせていただいております。初めて当社グループをお知りになる方にも、当社グループを身近に感じていただければ幸いです。  
 最後までお読みいただき、ありがとうございました。

グループ経営統括部 経営推進部 CSR推進室

# 小泉産業株式会社

発行: CSR推進室 2011年7月

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

TEL.06-6262-1391 FAX.06-6262-1296

E-mail [csrinfo@koizumi.co.jp](mailto:csrinfo@koizumi.co.jp)

<http://www.koizumi.co.jp/>



この印刷物に使用している用紙は、岩手県の森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。



適切に管理された森林で生産された木材を使った環境配慮型のFSC<sup>TM</sup> 認証紙を使用しています。



この印刷物は植物油インキを使用しています。



印刷工程では、有害な廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。